

令和6年度シラバス

Ⅱコース2年（理系）

日本大学東北高等学校

目 次 IIコース2年（理系）

学校シラバス	…	1	
IIコース2学年	…	2	4
論理国語	…	5	7
古典探究	…	8	11
地理総合	…	12	14
数学II	…	15	18
数学B	…	19	21
物理	…	22	24
化学	…	25	30
生物	…	31	33
体育	…	34	38
保健	…	39	42
英語コミュニケーションII	…	43	46
論理・表現II	…	47	51
家庭基礎	…	52	55
情報I	…	56	58
総合的な探究の時間	…	59	62

学校シラバス

校訓

- 1 忠恕の心：まごころを持って相手の心をおもいやること。
- 2 自主創造：自主的に学び、考え、広く世界的な視野を持つと共に、新しい自分、心豊かな自分を創造すること。
- 3 真剣力行：強い意志を持ち、目的に向かって全力を尽くすこと。

本年度の努力目標

1. 奉仕と思いやりの心を持とう
2. 新校舎を大切に学ぼう
3. 自ら学び、考え、道をひらこう

取り組み項目	具体的な内容
キャリア教育、教科指導を計画的に推進し、学力の定着と向上を図り、生徒の進路目標を達成する。	<ol style="list-style-type: none"> 1 シラバスを作成し、生徒・保護者へ提示する。 2 進路ガイダンス等の各種説明会を通じて進路情報を提示し、幅広いキャリアビジョンと確かな学力を身に付けた上で進路を決定する意識を構築する。 3 卒業前の3年生に、学外からの出前講座、教員による校内講座を行い、幅広い教養を身に付ける。 4 日本大学工学部との高大連携事業を展開する。
国際理解教育を推進し、グローバル化社会に対応できる力を身に付ける。	<ol style="list-style-type: none"> 1 ネイティブ教員によるTT授業で、英語の4技能の育成を図る。 2 課外講座で、英会話講座を実施して語学力の育成を図る。 3 語学力育成とともに国際理解を深めることを目的に、ケンブリッジ大学研修を実施する。
自主的・主体的な学習への取り組みを通して、社会に貢献できる人材を育成する。	<ol style="list-style-type: none"> 1 自学室・自習室・サポート室を活用し、生徒が自ら学ぶ姿勢を育成する。 2 ICTを利用したアクティブ・ラーニング授業を実践する。 3 基礎学力到達度テスト対策に、春期特別指導を実施する。 4 大学進学に向けて、各種模擬試験の活用と夏期進学補習の充実を図る。 5 図書館を利用して、生徒が自ら問題解決の糸口を見つけ出す姿勢を育成する。
学校行事や課外活動を通して、人間的成長を促し、円満な人格形成を図る。	<ol style="list-style-type: none"> 1 修学旅行を通して、団体行動や平和について学習する。 2 部活動を通して、心身を鍛え自主性や協調性を育成する。 3 文化祭などの学校行事を通して、自主性や創造性、協働性を身に付けるとともに、仲間との達成感を共有する。 4 芸術鑑賞会を通して、広く芸術に触れ、親しむ心を育成する。 5 身だしなみ向上週間の活動を通じて、自律心を育成する。
学校の安全管理を徹底するとともに、安全教育を推進する。	<ol style="list-style-type: none"> 1 学校安全計画、防災マニュアル（安全管理マニュアル・衛生管理マニュアル・防火管理マニュアル）を実践する。 2 火災や地震を想定した避難訓練、および救急救命講習会や避難器具使用講習会等を実施する。 3 地歴公民や保健体育の授業、ホームルーム活動を通じて、安全や健康について学習する。 4 交通安全教室、スマホ安全教室等を実施し、生徒の危機管理意識を育成する。

◇年間行事計画

IIコース2学年

指導内容・行事

指導のねらい

4月	Welcome program	<ul style="list-style-type: none"> ・企画力の伸長 ・学年を越えた交流を深める
	二者面談	<ul style="list-style-type: none"> ・進路意識の高揚 ・生徒間、教員との信頼関係の構築
	進路希望調査	<ul style="list-style-type: none"> ・自己理解と目標設定
	基礎学力到達度テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力の定着、自己分析
	登校指導	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的生活習慣の確立
	シェイクアウト訓練	<ul style="list-style-type: none"> ・危機管理意識の醸成
	学級懇談会	<ul style="list-style-type: none"> ・教員—保護者の信頼関係の構築
5月	全統記述模試	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力の定着と応用力を測る ・弱点、苦手分野の把握 ・学習計画の立案、課題設定
	保護者参観授業	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者への情報公開 ・家庭との連携強化
	身だしなみ向上週間	<ul style="list-style-type: none"> ・規範意識の高揚 ・自己管理能力の育成
	1学期中間試験	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的学習習慣の確立 ・既習事項の定着度の測定
	英検	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力の定着 ・資格取得によるキャリアアップ
6月	身だしなみ向上週間	<ul style="list-style-type: none"> ・規範意識の高揚 ・自己管理能力の育成
	校内体育大会	<ul style="list-style-type: none"> ・健やかな心身の育成 ・良好な人間関係の構築
	数検、漢検	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力の定着 ・資格取得によるキャリアアップ
	1学期期末試験	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的学習習慣の確立 ・既習事項の定着度の測定
	性の講演会	<ul style="list-style-type: none"> ・自己を守るための情報提供 ・予防啓発
7月	アカシヤ祭	<ul style="list-style-type: none"> ・自己理解を深める ・創造力、表現力の伸長 ・他者と協働する力を育む
	ベネッセ総合学力テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力の定着度を測る ・弱点、苦手分野の把握 ・学習計画の立案、課題設定
	三者面談	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭との連携 ・信頼関係の構築 ・現状の理解と目標の設定

	夏期進学講座	<ul style="list-style-type: none"> ・学力の伸長 ・学習習慣の確立
	探究活動	<ul style="list-style-type: none"> ・論理的思考力の伸長 ・地域社会への理解を深める
8月	スタディーサポート	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力の定着度を測る ・強み、弱みの把握 ・学習計画の立案
	大学探究プログラム	<ul style="list-style-type: none"> ・進路意識の高揚を図る ・自己理解を深める
	8時間耐久自学	<ul style="list-style-type: none"> ・学習習慣の確立 ・集中力、忍耐力を育む
	全統記述模試	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力の定着と応用力を測る ・弱点、苦手分野の把握 ・学習計画の立案、課題設定
	夏期進学講座	<ul style="list-style-type: none"> ・学力の伸長 ・学習習慣の確立
9月	進路希望調査	<ul style="list-style-type: none"> ・進路希望の確認
	服装頭髪指導	<ul style="list-style-type: none"> ・規範意識を高める
	成果テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力の定着
	保護者参観授業	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者への情報公開 ・家庭との連携強化
10月	校内体育大会（運動会）	<ul style="list-style-type: none"> ・健やかな心身の育成 ・良好な人間関係の構築
	2学期中間試験	<ul style="list-style-type: none"> ・自主的、計画的学習への取り組み ・学習活動の成果を測る
	身だしなみ向上週間	<ul style="list-style-type: none"> ・規範意識の高揚 ・自己管理能力の育成
	ベネッセ総合学力テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力の定着度を測る ・弱点、苦手分野の把握 ・学習計画の立案、課題設定
	芸術鑑賞会	<ul style="list-style-type: none"> ・文化、芸術についての造詣を深める
	英検、漢検	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力の定着 ・資格取得によるキャリアアップ
11月	身だしなみ向上週間	<ul style="list-style-type: none"> ・規範意識の高揚 ・自己管理能力の育成
	修学旅行	<ul style="list-style-type: none"> ・主体性を育む ・自主研修の立案
	進路講演会(生徒対象)	<ul style="list-style-type: none"> ・受験への意識高揚 ・新課程入試の情報収集
	進学説明会(保護者対象)	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者との進路情報の共有
12月	2学期期末試験	<ul style="list-style-type: none"> ・自主的、計画的学習への取り組み ・学習活動の成果を測る

	冬期進学講座	<ul style="list-style-type: none"> ・学力の伸長 ・学習習慣の確立
1月	成果テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力の定着 ・学習活動の成果を測る
	服装頭髪指導	<ul style="list-style-type: none"> ・規範意識を高める
	ベネッセ総合学力テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力の定着度を測る ・弱点、苦手分野の把握 ・学習計画の立案、課題設定
	英検、漢検	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力の定着 ・資格取得によるキャリアアップ
2月	身だしなみ向上週間	<ul style="list-style-type: none"> ・規範意識の高揚 ・自己管理能力の育成
	Bnesse 大学入学共通テスト模試 全統大学入学共通テスト模試	<ul style="list-style-type: none"> ・1年後の入試を意識する
	数検	<ul style="list-style-type: none"> ・資格取得によるキャリアアップ
	探求活動報告会	<ul style="list-style-type: none"> ・表現力、プレゼン力の育成
	IIコース2・3年生交流会準備	<ul style="list-style-type: none"> ・企画力の伸長 ・学年を越えた交流を深める
3月	3学期末試験	<ul style="list-style-type: none"> ・自主的、計画的学習への取り組み ・学習活動の成果を測る
	進学講演会（合格体験報告会）	<ul style="list-style-type: none"> ・進路意識の高揚 ・学習習慣の見直し
	春季特別授業	<ul style="list-style-type: none"> ・学力の伸長 ・学習習慣の確立
	スタディサポート	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力の定着度を測る ・強み、弱みの把握 ・学習計画の立案

科 目	単位数	対象学年	対象クラス
論理国語	3	2	文理共通

教科書名 論理国語 (数研出版)

副教材名 三訂版 プログレス現代文総演習 標準編 (いいずな書店)

現代文記述問題攻略ノート 習得編 (数研)

現代語練習帳 ことのは (いいずな書店)

1 科目目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
- (2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2 学習計画及び評価方法

	月	学習内容	学習のねらい
1 学 期	4	(1) ガイダンス ① 授業の進め方 ② 週課題, 小テスト	(1) ① 予習・復習の仕方や授業の基本的な進め方について理解する ② 週課題や小テストの内容や提出方法について理解する
	5	(2) 「逆説」(教科書)	(2) ① 文章中の抽象的な表現の内容を踏まえ、筆者の考え方に対する自分の考えを述べる。 ② 筆者の逆説的言説を理解したうえで、異なる事例を考え、論理的に説明する。
		(3) 現代文記述問題攻略ノート	(3) 複数の文章・図表資料などを関連付けながら読み解く力と新傾向の問題に対応した記述力の基礎を身に付ける。
		【一学期中間試験】	
		(1) 「具体と抽象」(教科書)	(1) ① 言葉の性質についての筆者の考えを読み取

6	(2)現代文記述問題攻略ノート	る。 ②筆者の主張を踏まえ、事物を抽象的にとらえることの利点が見える具体的な事例を日常生活の中から考える。 (2) 複数の文章・図表資料などを関連付けながら読み解く力と新傾向の問題に対応した記述力の基礎を身に付ける。	
	7	【一学期期末試験】	
	【課題・提出物】 授業ノート・週課題・読書感想文等		
	【1学期の評価方法】 定期試験の素点平均×80%+平常点(授業態度・提出物・小テスト等)×20%		
月	学習内容	学習のねらい	
2 学 期	9	(1)「言葉と創造」(教科書)	(1) ①言葉の性質についての筆者の考えを読み取る。 ②抽象的な概念を表す言葉の役割について考える。
	10	(2)現代文記述問題攻略ノート	(2) 複数の文章・図表資料などを関連付けながら読み解く力と新傾向の問題に対応した記述力の基礎を身に付ける。
	11	【二学期中間試験】	
	12	(1)「近代と現代の視点」(教科書)	(1) ①筆者が考える「問題の本質」の内容を論拠とともに読み取る。 ②科学と社会との関わり方について自分の考えを深める。
	(2)現代文記述問題攻略ノート	(2) 複数の文章・図表資料などを関連付けながら読み解く力と新傾向の問題に対応した記述力の基礎を身に付ける。	
	【二学期期末試験】		
【課題・提出物】 授業ノート・週課題等			
【2学期の評価方法】 定期試験の素点平均×80%+平常点(授業態度・提出物・小テスト等)×20%			

	月	学習内容	学習のねらい
3 学 期	1	(1)「言葉と思考」(教科書)	(1) ①指定の段落構成に従い、筆者が提示する問題点を踏まえつつ、具体例や自分の意見を論述する。
	2	(2)現代文記述問題攻略ノート	(2) 複数の文章・図表資料などを関連付けながら読み解く力と新傾向の問題に対応した記述力の基礎を身に付ける。
	3	【三学期期末試験】	
【課題・提出物】授業ノート・週課題等			
【3学期の評価方法】 定期試験の素点平均×80%+平常点(授業態度・提出物・小テスト等)×20%			
【年間の学習状況の評価方法】 年間の定期試験の素点平均×80%+年間の平常点(授業態度・提出物・小テスト等)×20%			

3 観点別評価内容および評価方法

	観点別評価内容	評価方法
知識・技能	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにしている。	定期試験・小テスト・提出物
思考・判断・表現	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	授業態度・定期試験・発表・提出物
主体的に学習に取り組む態度	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。	授業態度・小テスト・発表・提出物

4 学習サポート(事前・事後学習等について)

予習・復習を前提として授業を行います。語句の意味調べや段落分け等を各自で行い、授業に臨んでください。

論理的な文章においては、文章構造に着目し、文や段落相互の関係を正しく理解することを心掛けましょう。

科 目	単位数	対象学年	対象クラス
古典探究	2	2	文理共通

教科書名 高等学校 古典探究 (数研出版)
 副教材名 新明説総合古典文法 (尚文出版) 古文攻略マストアイテム76 (桐原書店)
解法古文単語350 (数研出版)
三訂版 プログレス古典総演習 標準編 (いいずな書店)
古典文法集中トレーニング 敬語・識別編 (いいずな書店)
精選漢文 (尚文出版) 精選漢文 基本練習ノート (尚文出版)
体系漢文法演習 (数研出版)

1 科目目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1)生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
- (2)論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- (3)言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2 学習計画及び評価方法

	月	学習内容	学習のねらい
1 学 期	4	(1)ガイダンス ①授業の進め方 ②週課題, 小テスト	(1) ①予習・復習の仕方や授業の基本的な進め方について理解する ②週課題や小テストの内容や提出方法について理解する
	5	《古文》 (1)「説話」(教科書) 《漢文》 (2)「故事」(教科書)	(1) ①前年度学習した文法事項を確認するとともに、古文の基本的な読み方を復習する。 (2) ①前年度学習した漢字の意味や句形を確認するとともに、漢文の基本的な読み方を確認する。

	6	<p>【一学期中間試験】</p> <p>《古文》 (1)「随筆」(教科書)</p> <p>《漢文》 (2)「文章」(教科書)</p>	<p>(1)</p> <p>①筆者のものの見方や考え方と、自分の生活や現代の社会とを照らし合わせて内容を理解する。</p> <p>(2)</p> <p>①話の展開や描写を注意深く読み解くとともに、作品が生まれた思想的な背景について理解する。</p>
	7	<p>【一学期期末試験】</p>	
<p>【課題・提出物】授業ノート・週課題・創作(俳句・短歌・詩・小説)等</p>			
<p>【1学期の評価方法】</p> <p>定期試験の素点平均×80%+平常点(授業態度・提出物・小テスト等)×20%</p>			
	月	学習内容	学習のねらい
2 学 期	9	<p>《古文》 (1)「歌物語」(教科書)</p> <p>《漢文》 (2)「思想」(教科書)</p>	<p>(1)</p> <p>①物語中の歌について、誰がどこで詠んだ歌であるかを確認し、主題を考える。</p> <p>(2)</p> <p>①諸子百家の文章に見える考え方から、現代社会に通用する部分を考察する。</p>
	10	<p>【二学期中間試験】</p> <p>《古文》 (1)「物語」(教科書)</p>	<p>(1)</p> <p>①長編物語を読んで、登場人物の行動や心情を的確に読み取るとともに、平安時代の物語文学への理解を深める。</p>
	11	<p>《漢文》 (2)「漢詩」(教科書)</p>	<p>(2)</p> <p>①単元内の教材の学習を踏まえて、漢詩の規則を確認する。</p>
	12	<p>【二学期期末試験】</p>	

【課題・提出物】授業ノート・週課題等		
【2学期の評価方法】 定期試験の素点平均×80%+平常点(授業態度・提出物・小テスト等)×20%		
月	学習内容	学習のねらい
3 学 期	1 《古文》 (1)「日記文学」(教科書) (2)「和歌・歌謡・俳諧」(教科書)	(1) ①日記を読んで、記された事柄や作者のものの見方・感じ方を的確に捉える。 (2) ①作者は和歌や俳諧をどのようなものにとらえているか、その本質と効用に分けて整理する。
	2 《漢文》 (3)「史伝」(教科書)	(3) ①人間や人間関係を生き生きと描いた史伝を読んでその魅力を味わうとともに、登場人物の人物像を把握する。
	3 【三学期中間試験】	
【課題・提出物】授業ノート・週課題等		
【3学期の評価方法】 定期試験の素点平均×80%+平常点(授業態度・提出物・小テスト等)×20%		
【年間の学習状況の評価方法】 年間の定期試験の素点平均×80%+年間の平常点(授業態度・提出物・小テスト等)×20%		

3 観点別評価内容および評価方法

	観点別評価内容	評価方法
知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにしている。	定期試験・小テスト・提出物
思考・判断・表現	「読むこと」の領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	授業態度・定期試験・発表・提出物
主体的に学習に取り組む態度	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで古典に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。	授業態度・小テスト・発表・提出物

4 学習サポート（事前・事後学習等について）

予習・復習を前提として授業を行います。古典の文章読解においては、文法事項の確認・現代語訳を各自で行い、授業に臨んでください。

古文においては、文法事項を理解することはもちろんですが、それをいかに用いて文章を読むことができるかが大切です。

漢文においては、漢字の意味や句形を理解するとともに、文法構造に着目して学びましょう。

科目	単位数	対象学年	対象クラス
地理総合	2	2 学年	Ⅱコース共通

教科書名 高等学校新地理総合（帝国書院） 新詳高等地図（帝国書院）
副教材名 新詳地理資料 COMPLETE 2024（帝国書院）

1. 科目目標

社会的事象の地理的な見方・考え方を学び、課題を追求・解決することにより、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会で主体的に生きることができる資質、能力を身につける。

2. 学習計画及び評価方法

	月	学習内容	学習のねらい	
1 学 期	4	01 ガイダンス	<ul style="list-style-type: none"> 現代世界のさまざまな地理情報について、地図や地理情報システムなどを用いて、その情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身に付ける。 現代世界の地域構成を示したさまざまな地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結びつきなどについて理解する。 現代世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。 世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解する。 	
		02 時差と私たちの生活		
	5	03 地図の発達と世界地図①		
		04 地図の発達と世界地図②		
		05 現代世界の国家①		
		06 現代世界の国家②		
		07 国家間の結びつき		
				1 学期中間試験
	6	08 貿易によって結びつく世界		
		09 日本の貿易		
		10 さまざま交通網の発達		
		11 世界を結ぶ通信網の発達		
		12 世界の大地形①		
	7	13 世界の大地形②		
		14 山地・平野の地形と人々の生活		
		15 海岸の地形と人々の生活		
16 その他の地形と人々の生活				
		1 学期期末試験		
【課題・提出物】				
・授業プリントの点検				
【第1学期の評価方法】				
①	定期試験の成績	知識・理解の確認のほか、思考力・表現力を問う問題も出題する。		
②	学習態度等の平常点 (10%以内)	授業時の学習過程で、観点別評価内容の3項目について評価する。 また、授業プリントの状況なども評価する。		

	月	学習内容	学習のねらい			
2 学 期	9	17 地形図読図の基本 18 世界の気温と降水量 19 世界の風と大気大循環 20 世界の気候区分 21 世界の植生と土壌	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の人々の生活文化について、その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、多様性や変容の要因などを考察し、表現する。 ・言語と民族の関わり、宗教と人々の生活への影響について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。 ・農業の発展と生産性、農業の近代化とその課題、工業の発達と生活の変化、工業地域の地域差について理解する。 ・世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現する。 			
	10	22 世界の言語・宗教と人々の生活① 23 世界の言語・宗教と人々の生活② 2 学期中間試験				
	11	24 人々の生活を支える農業の発展① 25 人々の生活を支える農業の発展② 26 水産業と林業				
		27 人々の生活を支える工業の発展① 28 人々の生活を支える工業の発展②				
		29 地球的課題とその解決に向けて 30 地球的規模の環境問題① 31 地球的規模の環境問題②				
		12		32 世界の資源・エネルギー問題① 33 世界の資源・エネルギー問題② 2 学期期末試験		
	【課題・提出物】 ・授業プリントの点検					
	【第2学期の評価方法】 ① 定期試験の成績 知識・理解の確認のほか、思考力・表現力を問う問題も出題する。 ② 学習態度等の平常点 授業時の学習過程で、観点別評価内容の3項目について評価する。(10%以内) また、授業プリントの状況なども評価する。					
		月		学習内容	学習のねらい	
	3 学 期	12		34 世界の人口・食料問題① 35 世界の人口・食料問題② 36 世界の人口・食料問題③	<ul style="list-style-type: none"> ・地球的課題と国際協力について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。 ・地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し表現する。 	
				1		37 村落の立地と人々の生活 38 世界の都市・居住問題① 39 世界の都市・居住問題② 40 世界の都市・居住問題③ 41 日本の位置と領域・地形 42 日本の気候・自然災害①

2	43 日本の気候・自然災害② 44 東アジアの地誌① 45 東アジアの地誌② 46 東アジアの地誌③ 47 東南アジアの地誌① 48 東南アジアの地誌② 3 学期期末試験	・アジアの経済急成長の歩み，市場経済の導入で成長した中国，世界の工場から世界の市場への発展について理解する。 ・経済成長と生活の変化，経済格差と人口の移動，深刻な環境問題について，多面的・多角的に考察し，表現する。
【課題・提出物】 ・授業プリントの点検 ・冬季休業中の課題（自然環境と防災に関するレポート）		
【第3学期の評価方法】 ・冬季休業中の課題，授業プリントの状況などを評価する。		
【年間の学習状況の評価方法】 ① 定期試験の成績 知識・理解の確認のほか，思考力・表現力を問う問題も出題する。 ② 学習態度等の平常点 授業時の学習過程で，観点別評価内容の3項目について評価する。 (10%以内) また，授業ノート・ワークブックの状況なども評価する。		

3. 評価の観点、内容及び評価方法

	観点別評価内容	評価方法
知識・技能	世界の生活文化の多様性や防災，地域や地球的課題への取組などの理解，地理に関する情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能，など。	・授業の様子 ・授業プリント ・定期テスト
思考・判断・表現	地理に関わる諸事象等の意味や意義、特色や相互の関連を，位置や分布，場所，人間と自然環境との相互依存関係，空間的相互依存作用，地域などに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力，など。	・授業の様子 ・授業プリント ・定期テスト
主体的に学習に取り組む態度	よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとする態度，など	・授業の様子 ・授業プリント ・定期テスト

4. 学習サポート（事前・事後学習等について）

地理の授業は自分の視野を広げることが目的です。まずは興味のある分野（スポーツ・音楽・食・ファッション・観光など）を通じて，世界のさまざまな文化や人々の生活に接してみてください。さらに，新聞やニュースなどから現代社会の諸問題にも関心を持ってほしいと思います。

地理に興味・関心がある生徒，また質問などがあれば気軽に担当教員に声をかけてください。

科目	単位数	対象学年	対象クラス
数学Ⅱ	5	2 学年	Ⅱ コース理系

教科書名 数学Ⅱ・B・Ⅲ (啓林館)

副教材名 Focus Gold Ⅱ・B・C アドバンスα Ⅱ アドバンスα B・C

サンダイヤル 確率分布と統計的推測

1. 科目目標

<p>計算力と思考力の融合</p> <p>① 分析力の向上(状況に合わせて取捨選択する力を身に付ける)</p> <p>② 翻訳力の向上(課題の内容を自分の言葉に言い換える力を身に付ける)</p> <p>③ 目標設定力の向上(課題解決に向けてスモールステップを自分で設ける力を身に付ける)</p> <p>④ 遂行力の向上(課題解決の過程を説明する力を身に付ける)</p>

2. 学習計画及び評価方法

(CanDo リストになっています。単元毎に自己評価をしましょう)

月	学習内容	学習のねらい
1 学 期	4 ~ 7 (8) 微分・積分	<ul style="list-style-type: none"> ・ 式と図形の関連性を学ぶ。 <input type="checkbox"/> 図と式の対応関係を理解する。 (①分析力②翻訳力) <input type="checkbox"/> 図形の特徴を利用し解法に利用することができる。(③目標設定力) ・ 微分と積分の概念を習得し、数学Ⅲを学ぶための土台をつくる。 <input type="checkbox"/> 極限や微分、積分の定義を身に付ける。 (①分析力) <input type="checkbox"/> グラフを利用して「関数⇔方程式」「関数⇔不等式」といった具合に問題を言い換えられる。(②翻訳力) <input type="checkbox"/> パラメーターが入ったときにどの部分が変化するかを見抜ける。(③目標設定力)
<p>【課題・提出物】 教科担当者の指示に従うこと</p>		
<p>【第1学期の評価方法】 定期試験の成績を基本とする。平常点を20%以内で評価する。また、日常の授業に対する姿勢や課題の取り組み状況・確認試験の結果などによって減点をすることもある。</p>		

	月	学習内容	学習のねらい
2 学 期	9 ～ 12 (1)	数列	<ul style="list-style-type: none"> ・規則正しく並んだ数の性質を学ぶ <input type="checkbox"/>与えられた条件から、どの公式や考え方をい ればよいのかが分かる。(①分析力) <input type="checkbox"/>漸化式や群数列の問題を解くことができる。(④ 遂行力)
		平面ベクトル	<ul style="list-style-type: none"> ・図形問題を数式で処理する利点を学ぶ <input type="checkbox"/>ベクトルという概念に慣れる(①分析力) <input type="checkbox"/>数式からどういった図形的特徴を有しているか を探る。また、その逆もできるようにする。(② 翻訳力) <input type="checkbox"/>式の特徴から解法を取捨選択できる。 (③目標設定力)
		空間ベクトル	<ul style="list-style-type: none"> ・数式を通して立体図形や空間認識力を高め る。 <input type="checkbox"/>立体図形を図示し、式でその特徴を捉え、 最終的に式変形で問題の解決を図ること ができる。(①分析力②翻訳力④遂行力)
【課題・提出物】 教科担当者の指示に従うこと			
【第2学期の評価方法】 定期試験の成績を基本とする。平常点を20%以内で評価する。また、日常の授業に対する姿勢や 課題の取り組み状況・確認試験の結果などによって減点をすることもある。			

	月	学習内容	学習のねらい
3 学 期	1 ～ 2	複素数平面	<ul style="list-style-type: none"> ・複素数と図形の関連性を調べ、習得する。 <input type="checkbox"/>複素数の3通りの表し方のそれぞれの特 徴を理解し、使い分けられる。(②翻訳力 ③目標設定力④遂行力)
	【課題・提出物】 教科担当者の指示に従うこと		

<p>【第3学期の評価方法】</p> <p>1, 2学期までの成績を基本とする。平常点を20%以内で評価する。また、日常の授業に対する姿勢や課題の取り組み状況・確認試験の結果などによって減点をすることもある。</p>
<p>【年間の学習状況の評価方法】</p> <p>定期試験の成績を基本とする。</p> <p>平常点を20%以内で評価する。また、日常の授業に対する姿勢や課題の取り組み状況・確認試験の結果などによって減点をすることもある。</p>

3. 評価の観点、内容及び評価方法

	評価の観点及び内容	評価方法
<p>知識・技能</p> <p>②翻訳力</p>	<p>数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。</p>	<p>定期試験、 成果テストや 小テスト</p>
<p>思考・判断・表現</p> <p>③目標設定力</p>	<p>数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。</p>	<p>定期試験、 成果テストや 小テスト</p>
<p>主体的に学習に 取り組む態度</p> <p>① 分析力 ⑤ 遂行力</p>	<p>数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>	<p>提出物の状況、 他者との協働の様子、 各種提出物など</p>

4. 学習サポート(教科担当者より)

①授業について

「数学の授業と体育の授業は似ている」→自分でやらないと(間違える事をしないと)わからないし、出来るようにならない。数学で大切なのはアウトプットすること。

- 先ず手を動かす事...自分で出来る部分と出来ない部分を把握し、復習する部分を見付ける。おとなしく聞いて板書を写すことが授業を受けていることと勘違いをしない。
- ノートを取るだけで満足しない...カラフルにノートをとっても意味はない。板書を写しているだけでも意味はない。大切なのは自分で解けるようになること。
- 分からなければ誰かに尋ねる...「教え合う」事で理解度 90%。
数学が苦手と自覚してる人は特に「人に尋ねる」こと心掛ける。
→win-win の関係を築く。

②学習法について

数学は復習型の教科 「授業→復習→演習→授業→復習→...」を心掛ける。

復習の仕方

- ・ その日の授業に行った問題(解きにくいと感じたもの)を解き直す(計算用紙とか要らないものでよい)。その際、気付いた事や解き方のポイントなどをノートに書き込んだり付箋に書いて張り付けたり出来れば good!!→ノートにコメントを書いた分だけ自分オリジナルの参考書が作れる。
- ・ 理解が乏しければ、目印をつけ、数日後にもう一度解き直してみる。
- ・ 授業前にノートを開き、直前の内容を軽く思い出してみる。
- ・ 復習の際は、数式だけ羅列するのではなく、常に「誰かに見せるつもり、誰かに授業をするつもり(④遂行力の向上)」で書くこと。行間の日本語や途中計算をごまかさず丁寧に仕上げること。

演習の仕方...アドバンス α や Focus Gold を中心に演習

- ・ 計算力をつけたい→アドバンス α, Focus Gold *マーク 1~2
- ・ 考える力をつけたい→アドバンス α, Focus Gold *マーク 3~4
- ・ Classi やロイロノートを大いに利用すること。

その他

- ・ 進路実現が最大の目標であり、そのためには大学受験を突破しなければならない。最終的に目指すべきところは国公立 2 次試験であり、そこで合格点を得るためには、参考書や問題集を活用して様々な解法やテクニックを自主的に身に付けること。家庭学習では「思考力を伴うような問題演習」(②翻訳力③目標設定力の向上)をメインに行うこと。(Classi やロイロノートを大いに活用すること)
- ・ アクティブラーニングのときには「課題目標」「態度目標」を達成するのを心掛ける。積極的に他者に働きかけ、「静かに座って黙々と解く」ことをしてはならない。

科目	単位数	対象学年	対象クラス
数学 B	3	2 学年	II コース理系

教科書名 数学Ⅱ・B・C (啓林館)

副教材名 Focus Gold Ⅱ・B・C アドバンスα Ⅱ アドバンスα B・C

1. 科目目標

計算力と思考力の融合

- ① 分析力の向上(状況判断する力)
- ② 翻訳力の向上(課題の内容を自分の言葉に言い換える力)
- ③ 目標設定力の向上(課題解決に向かってスモールステップを自分で設ける力)
- ④ 遂行力の向上(課題解決の過程を説明する力)

2. 学習計画及び評価方法

(CanDo リストになっています。単元毎に自己評価をしましょう)

	月	学習内容	学習のねらい
1 学 期	4 ~ 7	三角関数	<ul style="list-style-type: none"> ・ 三角比を応用させ、関数としての振る舞い方を学ぶ。 □式の特徴に合わせて倍角や加法定理などの式変形ができる。(①分析力) □図やグラフを利用して、変数変換後の文字の動く範囲を調べる。(②翻訳力)
		【課題・提出物】 教科担当者の指示に従うこと	
		【第1学期の評価方法】 定期試験の成績を基本とする。平常点を20%以内で評価する。また、日常の授業に対する姿勢や課題の取り組み状況・確認試験の結果などによって減点をすることもある。	

	月	学習内容	学習のねらい
2 学 期	9 ~ 12	指数・対数関数	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指数関数と対数関数の相互関係を学び、計算に習熟する。 □指数関数と対数関数の関係が分かり、また、公式が使いこなせる。(①分析力) □図やグラフを利用して、変数変換後の文字の動く範囲を調べられる。(②翻訳力) □置き換えをして2次関数の問題に帰着させられる。(③目標設定力)

	式と曲線	<ul style="list-style-type: none"> ・方程式と図形の関連性を学ぶ。 □円錐の断面を利用して，方程式の対応関係を理解する。(①分析力②翻訳力) □直交座標と極座標の違いを理解し，使いこなすことが出来る。(②翻訳力④遂行力)
	【課題・提出物】 教科担当者の指示に従うこと	
	【第2学期の評価方法】 定期試験の成績を基本とする。平常点を20%以内で評価する。また，日常の授業に対する姿勢や課題の取り組み状況・確認試験の結果などによって減点をすることもある。	

	月	学習内容	学習のねらい
3 学 期	1 ~ 2	確率分布と統計的な推測	<ul style="list-style-type: none"> ・統計学の基礎を学ぶ。 □分散や標準偏差など，各種統計の用語とその意味を理解し活用できる。 (①分析力②翻訳力)
		【課題・提出物】 教科担当者の指示に従うこと	
		【第3学期の評価方法】 1, 2学期までの成績を基本とする。平常点を20%以内で評価する。また，日常の授業に対する姿勢や課題の取り組み状況・確認試験の結果などによって減点をすることもある。	
	【年間の学習状況の評価方法】 定期試験の成績を基本とする。平常点を20%以内で評価する。また，日常の授業に対する姿勢や課題の取り組み状況・確認試験の結果などによって減点をすることもある。		

3. 評価の観点，内容及び評価方法

	評価の観点及び内容	評価方法
知識・技能 ②翻訳力	数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。	定期試験， 成果テストや 小テスト
思考・判断・表現 ③目標設定力	数学を活用して事象を論理的に考察する力，事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力，数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。	定期試験， 成果テストや 小テスト

<p>主体的に学習に取り組む態度</p> <p>① 分析力</p> <p>④ 遂行力</p>	<p>数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う</p>	<p>提出物の状況、他者との協働の様子、各種提出物など</p>
------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------

4. 学習サポート(教科担当者より)

①授業について

「数学の授業と体育の授業は似ている」→自分でやらないと(間違ふ事をしないと)わからないし、出来るようにならない。数学で大切なのはアウトプットすること。

- 先ず手を動かす事...自分で出来る部分と出来ない部分を把握し、復習する部分を見付ける。おとなしく聞いて板書を写すことが授業を受けていることと勘違いをしない。
- ノートを取るだけで満足しない...カラフルにノートをとっても意味はない。板書を写しているだけでも意味はない。大切なのは自分で解けるようになること。
- 分からなければ誰かに尋ねる...「教え合う」事で理解度 90%。
数学が苦手と自覚してる人は特に「人に尋ねる」こと心掛ける。
→win-win の関係を築く。

②学習法について

数学は復習型の教科 「授業→復習→演習→授業→復習→...」を心掛ける。

復習の仕方

- ・その日の授業に行った問題(解きにくいと感じたもの)を解き直す(計算用紙とか要らないものでよい)。その際、気付いた事や解き方のポイントなどをノートに書き込んだり付箋に書いて張り付けたり出来れば good!!→ノートにコメントを書いた分だけ自分オリジナルの参考書が作れる。
- ・理解が乏しければ、目印をつけ、数日後にもう一度解き直してみる。
- ・授業前にノートを開き、直前の内容を軽く思い出してみる。
- ・復習の際は、数式だけ羅列するのではなく、常に「誰かに見せるつもり、誰かに授業をするつもり(④遂行力の向上)」で書くこと。行間の日本語や途中計算をごまかさず丁寧に仕上げること。

演習の仕方...アドバンス α や Focus Gold を中心に演習

- ・計算力をつけたい→アドバンス α, Focus Gold *マーク 1~2
- ・考える力をつけたい→アドバンス α, Focus Gold *マーク 3~4
- ・Classi やロイロノートを大いに利用すること。

その他

- ・進路実現が最大の目標であり、そのためには大学受験を突破しなければならない。最終的に目指すべきところは国公立 2 次試験であり、そこで合格点を得るためには、参考書や問題集を活用して様々な解法やテクニックを自主的に身に付けること。家庭学習では「思考力を伴うような問題演習」(②翻訳力③目標設定力の向上)をメインに行うこと。(Classi やロイロノートを大いに活用すること)
- ・アクティブラーニングのときには「課題目標」「態度目標」を達成するのを心掛ける。積極的に他者に働きかけ、「静かに座って黙々と解く」ことをしてはならない。

教科・科目	単位数	対象学年	対象クラス
物理	3	2	Ⅱコース物理選択者

教科書名 「物理」「物理基礎」(東京書籍)

副教材名 ニューグローバル物理基礎+物理 WINSTEP 物理基礎 (ラーズ)

1. 教科目標

1. 物理に対する興味・関心を高め、物理の基礎的な考え方を身に付ける。
2. 大学に合格するだけでなく、大学での学習・研究の基礎となる力を身に付ける。
3. 生涯にわたり必要となる科学的な知識・思考力を身に付ける。

●探究型の学習を实践する

学習した基本的な原理・法則を用いて、身近な物理的な事物・現象を物理学的に解釈し、また、物理に関わる問題に直面したときに、自分の力で解決する方法を見いだす能力と態度を身に付ける。そのために、原理や法則を単に暗記するのではなく、それらを理解させることを目的とし、法則の導出の過程を自ら探求し考える。

また、物理現象を理解するにあたり、授業を聞くだけでなく、自らの考えを自分の言葉で表現する機会を大切にし、科学的な思考力を言語表現力とともに高める。

2. 学習計画及び評価方法

	月	学習内容	学習のねらい
1 学 期	4	1 平面内の運動	平面内の運動における相対速度について理解する。 水平方向、斜めに投射された物体の運動について学ぶ。
	5	2 放物運動	
		2 剛体のつり合い	1 剛体と力のモーメント
	6	3 運動量	1 力積と運動量 2 運動量の保存 3 反発係数
4 円運動		1 円運動 2 慣性力	角速度、周期、回転数について理解する。 円運動が加速度運動であることを理解し、運動方程式を立てる。 慣性力を理解し、遠心力についても学習する。
【1学期中間試験】			
【1学期期末試験】			
【課題・提出物】 ・演習プリント ・問題集ニューグローバル			
【第1学期の評価方法】 定期試験 + 平常点 平常点は以下の項目などにより評価する。			

○提出物 ○ニューグローバルの取り組み ○授業に対する意欲・積極性				
月	学習内容	学習のねらい		
2 学 期	7 夏期休業中課題【WINSTEP】		1年次の学習の復習を行い実力を養成する。	
	5 単振動	1 単振動	単振動の速度、加速度について学ぶ。	
	8		単振動を引き起こす力がどのような力か理解し、運動方程式を立てる。	
	9	2 さまざまな単振動	単振動の例として、ばね振り子や単振り子について学ぶ。	
		3 単振動のエネルギー	単振動する物体のもつエネルギーについて学ぶ。	
	10	6 万有引力	1 惑星の運動	ケプラーの法則について学習する。
			2 万有引力	万有引力と重力について学ぶ。
		【2学期中間試験】		
	11	7 気体分子の運動	1 気体の性質	ボイル・シャルルの法則、状態方程式について理解する。
			2 気体分子の運動と状態方程式	気体分子の運動と圧力の関係について理解する。
	12		3 熱力学第1法則と気体の状態変化	状態変化における熱、仕事及び内部エネルギーの関係について理解する。
			4 熱力学第2法則と熱機関	熱現象の不可逆性の観点から熱力学第2法則を学び、熱効率を求める。
	【2学期期末試験】			
【課題・提出物】 ・演習プリント ・問題集ニューグローバル・夏季休業中課題 【第2学期の評価方法】 定期試験 + 平常点 平常点は以下の項目などにより評価する。 ○提出物 ○ニューグローバルの取り組み ○授業に対する意欲・積極性				
月	学習内容	学習のねらい		
3 学 期	12 冬期休業中課題【WINSTEP】		1年次の学習の復習を行い実力を養成する。	
	1	1 波の伝わり方	1 波の表し方	正弦波を表す式について学ぶ。
			2 波の伝わり方	波の干渉と回折について理解する。
		2 音	2 ドップラー効果	反射の法則、屈折の法則を理解する。
	2	3 光の性質	1 光の伝わり方	ドップラー効果について理解する。
			2 光の回折と干渉	反射・屈折の法則について理解する。
		3 レンズと鏡	ヤングの実験、回折格子による干渉について理解する。	
	【3学期期末試験】		レンズの性質、生じる像について学ぶ。	
【課題・提出物】 ・演習プリント ・問題集ニューグローバル ・冬期休業中課題 【第3学期の評価方法】				

<p>定期試験 + 平常点 平常点は以下の項目などにより評価する。 ○提出物 ○ニューグローバルの取り組み ○授業に対する意欲・積極性</p>
<p>【年間の学習状況の評価方法】 定期試験 + 平常点 平常点は以下の項目などにより評価する。 ○提出物 ○ニューグローバル ○授業に対する意欲・積極性 ○長期休業中課題への取り組み</p>

3 観点別評価内容および評価方法

	観点別評価内容	評価方法
知識・技能	物理量や物理の現象について理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	定期考査 確認テスト
思考・判断・表現	様々な物理現象について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。	グループワークにおける活動 定期試験
主体的に学習に取り組む態度	学習活動に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	学習活動における態度、 振り返りシート

4. 学習サポート

<p>1. 日常生活の中で起こる様々な自然現象に興味をもち、その法則性について考える態度を身につけましょう。</p> <p>2. 物理法則の導出過程を大切に、論理的な思考力を高めましょう。</p> <p>3. クループ活動・討論をしながら、学び合い・教え合う姿勢を身につけましょう。</p> <p>4. 繰り返し演習に取り組み、徹底して基礎を定着させましょう。</p> <p><定期試験に向けて></p> <p>1. 教科書、授業プリントを見直して、解き直しましょう。</p> <p>2. ニューグローバルを2～3周して、理解を深めましょう。</p> <p><模試に向けて></p> <p>1. ニューグローバル、WINSTEP でしっかり復習しましょう。</p> <p>2. 過去問題で実践演習。テスト形式で行い、自己採点をして解き直しましょう。</p>

科 目	単位数	対象学年	対象クラス
化学	3+特指	2	理系クラス

教科書名 化学基礎 academia、化学 academia (実教出版)

副教材名 インプレス化学基礎ノート (浜島書店)

ニューステップアップ化学基礎、ニューステップアップ化学 (東京書籍)

サイエンスビュー 化学総合資料 (実教出版)

1 科目目標

化学的な物事、現象に関する基本的な原理、法則、語句の意味を理解し、身の回りの物事、現象を化学的に探求する方法を身につける。

2 学習計画及び評価方法

	月	学習内容	学習のねらい
1 学 期	4	3章 物質の変化	<ul style="list-style-type: none"> 生成した塩の反応を理解する。 中和反応の関係をを用い、酸、塩基のモル濃度と体積の求め方を身につける。 中和滴定(中和反応の実験)で使用する器具や操作について理解する。 滴定曲線(実験から得られるグラフ)の種類について理解する。 酸素、水素、電子の授受から物質を分類する力を身につける。 酸化数の定義を理解する。 酸化剤、還元剤の定義を理解する。 代表的な酸化剤、還元剤の反応式の書き方を理解する。 酸化還元反応式の書き方を理解する。 酸化剤と還元剤の量的関係について理解する。 金属のイオン化傾向、水との反応、酸との反応について理解する。 様々な反応の様子を電子を用いた式で表わせる力を身につける。
		1節 酸と塩基	
		3 中和反応と塩	
		4 中和滴定	
	5	3節 酸化還元反応	
		1 酸化と還元	
		2 酸化剤と還元剤	
	6	3 酸化還元反応の起こりやすさ	
		1 学期中間試験	
		4 身のまわりの酸化還元反応	

<p>7</p>	<p>2章 物質の変化と平衡 2節 化学反応とエネルギー 1 電池</p> <p>2 電気分解</p> <p>1 学期期末試験</p> <p>1章 物質の状態と平衡 1節 状態変化 1 物質の構造と融点・沸点 2 状態間の平衡</p> <p>夏期進学補習 2節 気体の性質 1 ボイル・シャルルの法則</p> <p>2 気体の状態方程式</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・電池の原理について理解する。 ボルタ電池の原理を理解する。 ・ダニエル電池および鉛蓄電池について仕組みを理解する。 <ul style="list-style-type: none"> ・電気分解の仕組みについて理解する。 代表的な水溶液の電気分解における、陽極・陰極の反応式をかける力を身につける。 ・燃料電池について理解する。 (電気分解の逆反応であることの確認が大切) <ul style="list-style-type: none"> ・物質の三態には、分子の熱運動と分子間力が関係していることを理解する。 ・圧力の単位，気液平衡，蒸気圧と蒸気圧曲線を学ぶ。状態図についても理解する。 <p>[前期:授業、後期:模試対策]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボイルの法則を理解する。 ・シャルルの法則，絶対零度，絶対温度を理解する。 ・ボイル，シャルルの法則を使える力を身につける。 ・気体の状態方程式を用い，様々な値を求められる力を身につける。 ・混合気体の全圧，分圧を求められる力を身につける。 ・理想気体と実在気体の違いを理解する。
<p>【課題・提出物】 ・授業中に配布する演習プリント ・授業ノート</p>		

<p>【1学期の評価方法】</p> <p>① 定期試験の成績(80%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知識・理解の確認とともに、実験について問う記述式問題も出題する。 <p>② 学習態度等の平常点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業時の学習過程で評価の観点の3項目について評価する。 ・課題の提出状況・小テストの成績を総合して評価する。 		
月	学習内容	学習のねらい
2 学 期	9 成果テスト	11月の進研模試をイメージした問題に対応出る力を身につける。
	3節 固体の構造	・イオン、分子、共有、金属結晶の構造、性質について学習する。1年次の復習を踏まえ、イオン結晶の構造、分子結晶の構造について理解する。
	1 結晶の構造	・アモルファスとは何か、具体例と合わせて理解する。
	2 アモルファス	・溶解のしくみと極性の関係について理解する。
10	4節 溶液	・溶解度と飽和溶液、溶解度曲線、再結晶について理解する。
	1 溶解	・質量パーセント濃度、モル濃度、質量モル濃度の定義を理解し、それぞれの値を求められる力を身につける。
	2 溶解度と溶解平衡	・ヘンリーの法則について理解する。
	2学期中間試験	
11	3 希薄溶液の性質	・沸点上昇と凝固点降下について理解する。
		・過冷却がどのような現象なのか理解し、冷却曲線から読み取れる情報を整理する力を身につける。
		・浸透圧について理解する。
	4 コロイド溶液の性質	・コロイド粒子とコロイド溶液の性質(チンダル現象、ブラウン運動、透析、電気泳動)について理解する。
		・疎水コロイドと凝析、親水コロイドと塩析、保護コロイドについて理解する。
		・日常生活や自然現象に当てはめる力を身につける。

	12	<p>2章 物質の変化と平衡</p> <p>1節 化学反応と熱・光エネルギー</p> <p>1 エネルギーの変換と保存</p> <p>2 化学反応と熱エネルギー</p> <p>3 ヘスの法則</p> <p>4 化学反応と光エネルギー</p> <p>2学期期末試験</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・化学反応に伴う熱の出入りについて理解する。 ・エンタルピー変化を付した反応式の意味と書き方について理解する。 ・様々な反応エンタルピー(燃焼エンタルピー, 生成エンタルピー, 溶解エンタルピー, 中和エンタルピー, 結合エネルギー)の定義を理解する。 ・ヘスの法則の定義を理解する。 ・ヘスの法則を用いて直接測定しにくい反応熱を求められる力を身につける。 ・光エネルギー、光触媒反応などについて理解する。
<p>【課題・提出物】</p> <p>・授業中に配布する演習プリント ・授業ノート ・夏季休業中課題</p>			
<p>【2学期の評価方法】</p> <p>① 定期試験の成績(80%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知識・理解の確認とともに、化学的思考について問う問題も出題する。 <p>② 成果テスト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏季休業中の課題を範囲とした試験を行う。 <p>③ 学習態度等の平常点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業時の学習過程で評価の観点の3項目について評価する。 ・課題の提出状況・小テストの成績を総合して評価する。 			
	月	学習内容	学習のねらい
3 学 期	1	<p>2節 化学反応と電気エネルギー</p> <p>1 電池</p> <p>2 電気分解</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な電池の正極, 負極の決定, 各極で起こる反応, 起電力について理解する。(復習) ・電気を流した際, 陽極, 陰極でどんな反応が起こっているのか, 電子を用いた式で表わせる力を身につける。(復習)
	2	<p>3節 反応の速さとしくみ</p> <p>1 反応の速さ</p> <p>2 反応の速さを変える条件</p> <p>3 反応のしくみ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・反応によって速さが異なることを理解し, 反応速度の表し方を理解する。 ・反応速度に濃度, 触媒, 物質の表面積の大きさが関係していることを理解する。 ・反応が起こるためには, 分子が活性化状態で衝突しなければならないことを理解する。

3	<p>2章 物質の変化と平衡</p> <p>4節 化学平衡</p> <p>1 可逆反応と化学平衡</p> <p>2 化学平衡の移動</p> <p>学年末試験</p> <p>3 電解質水溶液の平衡</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・反応速度に濃度，触媒，物質の表面積が関係していることを学習する。 ・反応の様子を描いたグラフを読み取る力を身につける。 ・反応には，正反応と逆反応，可逆反応と不可逆反応があることを理解する。 ・化学平衡とはどのような状態か理解する。 ・化学平衡(質量作用)の法則と平衡定数，固体が関係する反応の平衡定数を求めることができる。 ・平衡移動とルシャトリエの原理について理解する。 ・濃度変化，圧力変化，温度変化，触媒を加えたとき，反応に関与しない物質を加えたときの平衡の移動方向を理解する。 ・電離平衡と電離定数，酸の電離定数，塩基の電離定数，電離度と電離定数を求める力を身につける。 ・水の電離平衡を理解し，pH の値を求める力を身につける。 ・塩の加水分解と水溶液の性質，酢酸ナトリウムの加水分解，塩化アンモニウムの加水分解を理解する。 ・緩衝作用とは何か理解する。 ・緩衝液と pH の関係を理解する。 ・難溶性塩の溶解と溶解度積，溶解平衡と沈殿生成，共通イオン効果，溶解平衡と金属イオンの分離を理解する。
<p>【課題・提出物】</p> <p>・授業中に配布する演習プリント ・授業ノート ・冬季休業中課題</p>		
<p>【3学期の評価方法】</p> <p>① 定期試験の成績(80%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 知識・理解の確認とともに、化学的思考について問う問題も出題する。 <p>② 学習態度等の平常点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業時の学習過程で評価の観点の3項目について評価する。 ・ 課題の提出状況・小テストの成績を総合して評価する。 		
<p>【年間の学習状況の評価方法】</p> <p>各学期の成績を総合して評価する。</p>		

3 観点別評価内容および評価方法

	観点別評価内容	評価方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・観察，実験を行い，基本操作を習得するとともにそれらの過程や結果を的確に記録，整理し，自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。 ・操作の意味をよく理解し，実技のレベルが的確である。 ・実験結果に対する考察が十分であり，その内容を適切に伝達できる。 ・自然の事物・現象について，基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身に付けている。 ・学んだ内容が関連付けて整理され定着している。 ・知識を用いて発展的な応用ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の様子 ・授業ノート ・小テスト ・定期テスト
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の事物・現象の中に問題を見だし，探究する過程を通して，事象を科学的に考察し，導き出した考えを的確に表現している。 ・授業内容について科学的な捉え方ができる。 ・授業の成果をいかして社会や生活との関連を考えられる。 ・発展的な内容についても思考を展開させられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の様子 ・授業ノート ・小テスト ・定期テスト
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の事物・現象に関心や探求心をもち，意欲的にそれらを探究しようとするとともに，科学的態度を身に付けている。 ・講義式，実験式いずれの授業においても集中力を保つ。 ・授業で得た結果を基に発展的な興味をもって自主的活動を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の様子 ・授業ノート ・模試ノート

4 学習サポート（事前・事後学習等について）

随時、学習相談を実施するので、つまづいている箇所があれば早めに質問に来てください。

科目	単位数	対象学年	対象クラス
生物	3	2 学年	II コース理系

教科書名 生物 (数研出版)

副教材名 スクエア最新図説生物 (第一学習社) セミナー生物 (第一学習社)

1. 科目目標

1. 「生物」の面白さを知る

「生物」という科目では、生命現象のしくみや生命同士のつながり、生命の歴史について学ぶ。これらは、生命のひとつである「自分自身」を知ること・理解することである。生命の面白さを実感する。

2. 学力をつける

大学入学共通テスト、国公立大学個別試験、私立大学一般試験に対応できる学力を構築する。

3. 客観的な視点を育む

「生物」の学びを通して、「自分自身」や「自分自身をとりまく世界」を客観的に理解する視点を育む。

2 学習計画及び評価方法

	月	学習内容	学習のねらい
1 学 期		生物 第1編 生命現象と物質 第1章 生物の進化	<p>生命の起源は、無機物から有機物が生じ、有機物の集まりから「細胞」が生じたと考えられていることを理解し、生物が代謝を通じて地球の環境を変化させてきたこと、地球の環境の影響を受けて生物が進化してきたことを理解する。</p> <p>生物の形質の変化は、遺伝子の変化によって生じることを学び、減数分裂の染色体の乗換えによって遺伝子の組換えが起こることを理解する。</p> <p>遺伝的浮動と自然選択によって遺伝子頻度が変化し、進化が生じることを学ぶ。</p>
	4 5 6	<p>1. 生命の起源と生物の進化</p> <p>2. 遺伝子の変化と多様性</p> <p>3. 遺伝子の組み合わせの変化</p> <p>1 学期中間試験</p> <p>4. 進化のしくみ</p> <p>5. 生物の系統と進化</p> <p>6. 人類の系統と進化</p> <p>1 学期期末試験</p>	
<p>【課題・提出物】</p> <p>・授業中に配布する演習プリント ・セミナー生物 (定期試験範囲、月別範囲)</p> <p>・問題集用ノートの点検</p>			
<p>【第1学期の評価方法】</p> <p>① 定期試験の成績 (80%) ② 学習態度等の平常点 (20%)</p>			

	月	学習内容	学習のねらい
2 学 期		夏休みの課題・成果テスト	
	9 10	第2編 生命現象と物質 第2章 細胞と分子 1. 生体物質と細胞 2. タンパク質の構造と性質 3. 化学反応にかかわるタンパク質 4. 膜輸送や情報伝達に関わるタンパク質	細胞を構成する代表的な物質とその特徴について理解し、生命活動を担うタンパク質の構造について学ぶ。また酵素の基本的な性質と、酵素がはたらく反応条件について理解する。
	11	2学期中間試験 第3章 代謝 1. 代謝とエネルギー 2. 呼吸と発酵 3. 光合成 2学期期末試験	生体内で起こる化学反応の一部は酸化還元反応であり、反応に際して大きなエネルギーの出入りを伴うことを理解する。 呼吸ではエネルギーが取り出され、ATPが合成されることを理解し、光合成では光エネルギーを用いて二酸化炭素が還元されて有機物が生じることを理解する。
【課題・提出物】			
・授業中に配布する演習プリント ・セミナー生物（定期試験範囲、月別範囲） ・問題集用ノートの点検			
【第2学期の評価方法】			
① 定期試験の成績（80%） ② 学習態度等の平常点（20%）			

	月	学習内容	学習のねらい
3 学 期		冬休みの課題・成果テスト	
	1 2	第3編 遺伝情報の発現と発生 第4章 遺伝情報の発現と発生 1. DNAの構造と複製 2. 遺伝情報の発現 3. 遺伝子の発現調節 4. 発生と遺伝子発現 5. 遺伝子を扱う技術	DNAの構造・複製・タンパク質合成について、その詳細なしくみを理解する。また、遺伝子の発現調節の概要とバイオテクノロジーについて学習し、その原理と有用性を学ぶ。遺伝子の発現が、環境の変化などに応じて変化することも加えて理解する。 発生の過程では、遺伝子の発現調節によって細胞が分化するしくみ理解し、遺伝子を扱う様々な技術について理解する。
		3学期期末試験	

<p>【課題・提出物】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業中に配布する演習プリント ・セミナー生物（定期試験範囲、月別範囲） ・問題集用ノートの点検
<p>【第3学期の評価方法】</p> <p>① 定期試験の成績（80%） ② 学習態度等の平常点（20%）</p>
<p>【年間の学習状況の評価方法】</p> <p>①定期試験の成績 [80%]</p> <p>②平常点 [20%] → 課題・提出物、小テスト、出席状況など</p>

3 評価の観点、内容及び評価方法

	観点別評価内容	評価方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・科学的に探究する方法を身につけ、それらの過程や結果を導き出すことができる。 ・生命現象について、それらの基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な自然観を身につけている。 ・自然界の様々な事象を科学的に考察する能力と、豊かな科学的素養が身につけられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト
思考・判断	<ul style="list-style-type: none"> ・生物学的な方法で生物や生物現象に関する問題を取り扱い、自然を化学的にとらえられる。 ・科学的に探究する方法を身につけ、それらの過程や結果を導き出し、それを表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業時の様子 ・定期テスト
主体的に学習に取り組む態度	<p>生物や生物現象を通して自然に対する関心や探究心を持ち、基本的な概念や原理・法則を理解する意欲とともに、科学的な自然観や生物学的に探究する能力と態度を身につけようとする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業時の様子 ・提出物

4 学習サポート（事前・事後学習等について）

<ul style="list-style-type: none"> ・随時、学習相談を実施していますので、理解の難しい所、つまづいている箇所があれば、早めに解決しましょう。 ・受験に向けて、2年生のうちに基本的な内容を理解しましょう。また、時間のあるときに1年生のときの生物基礎の復習も行っていきましょう。

科 目	単位数	対象学年	対象クラス
体育	2	2	I・IIコース共通

教科書名 現代高等保健体育（大修館書店）

副教材名 現代高等保健体育ノート（大修館書店）

1 教科目標

- | |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>(1) 運動の多様性や体力の必要性を理解し、それらの知識・技能を身につける。</p> <p>(2) 自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。</p> <p>(3) 健康・安全を確保し、運動に親しむ態度を養う。</p> |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

2 学習計画及び評価方法

	月	学習内容	学習のねらい
1 学 期	4	<p>集団行動</p> <p>① 集合・隊形</p> <p>② 方向変換・列の増減</p> <p>体づくり運動・体育理論（通年で行う）</p> <p>(1) 体づくり運動</p> <p>①体ほぐしの運動</p> <p>②実生活に生かす運動の計画</p> <p>(2) 体育理論</p> <p>スポーツの文化的特性や現代スポーツの発展（1年次）</p> <p>運動やスポーツの効果的な学習の仕方（2年次）</p> <p>豊かなスポーツライフの設計の仕方（3年次）</p> <p>陸上競技</p> <p>①短距離走</p> <p>②持久走</p>	<p>集団の一員として迅速に、かつ安全に行動する力を身に付ける。</p> <p>①のびのびとした動作で用具などを用いた運動を行うことを通して、気付きや関わり合うことを身に付ける。</p> <p>②健康に生活をするための体力の向上，運動を行うための体力の向上を図る運動の計画と実践に取り組む姿勢を養う。</p> <p>・以下4項目に関し，体育実技の実施と関連させながら学習する。</p> <p>①スポーツの歴史的発展と多様な文化</p> <p>②現代スポーツの意義や価値</p> <p>③スポーツの経済的效果と高潔さ</p> <p>④スポーツが環境や社会にもたらす影響</p> <p>・1年次までの学習を踏まえて，記録の向上や競争の楽しさを味わう。</p> <p>・ルールマナーを大切にし，役割を積極的に引き受け，自己の責任を果たすことに意欲を持って取り組む。</p>
	5	<p>スポーツテスト（新体力テスト）</p> <p>種目：握力・上体起こし・長座体前屈・反復横とび・持久走・50m走・立</p> <p>ち幅跳び・ハンドボール投げ</p>	<p>・毎年継続して記録する，スポーツテスト種目の自己目標達成及び記録向上を目指す。</p>

<p>6</p> <p>7</p>	<p>ハンドボール</p> <p>①オリエンテーション ルールや用具設備の説明</p> <p>②ボール慣れ パス回し シュート 簡易ゲーム</p> <p>③役割や戦術をふまえたゲーム それぞれのポジションの役割 ディフェンスの仕方</p> <p>④スキルテスト</p> <p>⑤知識理解を確認するテスト</p>	<p>・自分の今持っている体力を知り日常の運動の習慣を身につけ、生涯スポーツに繋がる土台を養う。</p> <p>・動画を視聴しながら歴史やルール・用具設備について理解する。</p> <p>・ボールの大きさに慣れスムーズなパスキャッチ・パス回しができるようにする。</p> <p>・ランニングシュート・ステップシュート・ジャンプシュートなどさまざまなシュートが打てるようになる。</p> <p>・ゴールキーパーやコートプレイヤーの役割を理解する。</p> <p>・ゾーンディフェンスにおける攻防の仕方を理解する。</p> <p>・実態に応じたスキルテストを行う。</p> <p>・ルールや用具・施設設備に関するペーパーテストを行う。</p>
<p>【課題・提出物】なし</p>		
<p>【第1学期の評価方法】</p> <p>①実技試験（60%）</p> <p>ハンドボール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スキルテストによる評価 ・ペーパーテストによる評価 <p>スポーツテスト</p> <p>②授業態度・意欲・服装・出席状況・ルール小テストなど学習態度等の平常点(40%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的に授業へ参加し、準備や片付けも協力してできる ・正しい服装で授業へ参加できている ・ルール等の確認テスト 		

	月	学習内容	学習のねらい
2 学 期	9	スポーツテスト(新体力テスト) 種目：握力・上体起こし・長座体前屈・反復横とび・持久走・50m走・立ち幅跳び・ハンドボール投げ 陸上競技(長距離走) ①ジョギング ②持久走	・自分の今持っている体力を知り日常の運動の習慣を身につけ、生涯スポーツに繋がる土台を養う。 ・自分の持っている体力を知り日常の運動習慣を向上させる。 ・体づくり運動と共に心肺機能向上を目的とする。
	10	バスケットボール ① 状況に応じたボール操作 シュート パス ドリブル	・防御をかわして相手陣地やゴール付近にボールを運ぶことができる。 ・味方が作り出した空間にパスを送ることができる。 ・空いた空間に向かってボールをコントロールして運ぶことができる。
	11	② 戦術	・仲間と連携して相手ゴール近くへ侵入する攻撃方法と、その動きに対応して空間を埋めるなどの防御の動きで攻防を展開することができる。
	12	③ ゲーム 試合方法やルールを工夫し、試合を行う。	・ゲームを通して仲間と協力し合う楽しさや喜びを味わうことができる。 ・審判や運営に積極的にかかわり、仲間と協力してゲームを進めることができる。
		バドミントン ① グリップ・リストスタンド 用具の扱い方 ② ストローク	・グリップの握り方や、手首の使い方について理解する。 ・フォアハンド・バックハンドの正しいフォームを習得し、ラケットの中央でシャトルを捉える。
【課題・提出物】なし			
【第2学期の評価方法】			
① 実技試験(60%) ・バスケットボール シュート、パス、ドリブル等のスキルテストによる評価。 ・仲間と協力し公正なゲームができる。			
② 授業態度・意欲・服装・出席状況・ルール小テストなど学習態度等の平常点(40%) ・積極的に授業へ参加し、準備や片付けも協力してできる。 ・正しい服装で授業へ参加できている。 ・ルール等の確認テスト。			

	月	学習内容	学習のねらい
3 学 期	1	バドミントン	サービス時のルールを理解させロング、ショート
	2	③ サービス ④ ルールの理解 ⑤ ラリーの組み立て方	サービスを使い分けるようにする。 基本的なルールを理解する。 ハイクリアー、ドロップなどの球種を理解しゲームのなかの攻防に組み入れることができるようにする。
	【課題・提出物】なし		
【第3学期の評価方法】			
①実技試験（60%）			
バドミントン			
・サーブ、スマッシュ等の試験による評価。			
・ルールを理解し、試合を進めることができる。			
②授業態度・意欲・服装・出席状況・ルール小テストなど学習態度等の平常点(40%)			
・積極的に授業へ参加し、準備や片付けも協力してできる。			
・正しい服装で授業へ参加できている。			
・ルール等の確認テスト。			
【年間の学習状況の評価方法】 学年末の評定（評価）は1学期・2学期・3学期の実技の平均（60%） 年間の授業態度・意欲・服装・出席状況（40%） 知識・技能，思考・判断・表現，主体的に学習に取り組む態度等の観点を含め総合的に評価する。			

3 観点別評価内容および評価方法

	評価の観点及び内容	評価方法
知識・技能	<p>運動の合理的，計画的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに継続するための理論について理解しているとともに，目的に応じた技能を身に付けている。</p> <p>1. 運動技術（技）の名称や試合を進めるためのルールを学ぶ姿勢がある。</p> <p>2. 各運動の特性に応じて段階的な技能を身につけており，ゲームに生かすことができる。</p> <p>3. 各運動の特性に応じて勝敗を競い，攻防を展開できる技能を有する。</p> <p>4. ミニゲームの審判を務めることができる。</p>	<p>実技テスト</p> <p>確認テスト</p> <p>記録</p> <p>観察</p>

<p>思考・判断・表現</p>	<p>自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それを他者に伝えている。</p> <p>1. 自己や仲間の状況に応じて体力を高める運動を継続するための取り組みを工夫し、伝えようとしている。</p> <p>2. 課題解決のために身に着けた技能を生かすことができる。</p>	<p>記録 観察</p>
<p>主体的に学習に取り組む態度</p>	<p>運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>1. 欠席が少なく、授業への参加態度が良好である。</p> <p>2. 健康・安全に配慮した服装で参加をし、学習に主体的に取り組もうとする態度で臨んでいる。</p> <p>3. 多様性を理解し仲間と協力することができる。</p>	<p>記録 観察</p>

4 学習サポート（事前・事後学習等について）

実技科目の特性上、基本は授業内で実施をするが、必要性や状況に応じて対応する。

教科・科目	単位数	対象学年	対象クラス
保健	1	2	I・IIコース共通

教科書名 現代高等保健体育（大修館書店）

副教材名 現代高等保健体育ノート（大修館書店）

1 教科目標

健康・安全について理解を深めるようにし、自らの健康に興味を持ち、適切に管理していく能力を育てる。

2 学習計画及び評価方法

	月	学習内容	学習のねらい
1 学 期	4	3単元 生涯を通じる健康 1.ライフステージと健康	<ul style="list-style-type: none"> ・ライフステージと健康の関連について理解する。 ・各ライフステージで活用できる社会からの支援について理解する。
	5	2.思春期と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・思春期における体の変化を、女性と男性に分けて理解する。 ・思春期の心の発達にかかわって起こる問題について理解する。
		3.性意識と性行動の選択	<ul style="list-style-type: none"> ・性意識の男女差について理解する。 ・性情報が性行動の選択に影響を及ぼすことを、理解する。
	6	4.妊娠・出産と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠・出産の過程における健康課題について理解する。 ・妊娠・出産期に活用できる母子保健サービスについて理解する。
		5.避妊法と人工妊娠中絶	<ul style="list-style-type: none"> ・家族計画の意義と適切な避妊法について理解する。 ・人工妊娠中絶が心身に及ぼす影響について理解する。
		6.結婚生活と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・心身の発達と結婚生活の関係について理解する。 ・結婚生活を健康的に送るために必要な考え方や行動を理解する。
	7	7.中高年期と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・加齢にともなう心身の変化について理解する。 ・高齢社会に必要な社会的な取り組みについて理解する。
【課題・提出物】 <input type="checkbox"/> 保健ノート <input type="checkbox"/> 授業プリント <input type="checkbox"/> 課題レポート			

	【1 学期の評価方法】 ○定期試験 ○平常点（保健ノート，プリント，レポートなどの提出状況）
--	----------------------------------------------------------

	月	学習内容	学習のねらい
2 学 期	9	8.働くことと健康	<ul style="list-style-type: none"> ・働くことの意義と健康とのかかわりについて理解する。 ・働き方や働く人の健康問題の変化について理解する。
		9.労働災害と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・労働災害の種類とその原因について理解する。 ・労働災害を防止するために必要なことを理解する。
	10	10.健康的な職業生活	<ul style="list-style-type: none"> ・職場がおこなう健康に関する取り組みについて理解する。 ・余暇を積極的にとることの意義について理解する。
		4 単元 健康を支える環境づくり	
		1.大気汚染と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・大気汚染の原因と健康への影響について理解する。 ・大気にかかわる地球規模の健康問題について理解する。
		2.水質汚濁， 土壌汚染と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・水質汚濁， 土壌汚染の原因とその健康影響を理解する。 ・大気， 水， 土壌にまたがる複合的な環境汚染の発生のしくみについて理解する。
	11	3.環境と健康にかかわる対策	<ul style="list-style-type: none"> ・環境汚染による健康被害を防ぐ方法について理解する。 ・産業廃棄物の処理について理解する。
		4.ごみの処理と上下水道の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみの処理の現状やその課題について理解する。 ・上下水道のしくみと健康にかかわる課題を理解する。
	12	5.食品の安全性	<ul style="list-style-type: none"> ・食品の安全性と健康とのかかわりについて理解する。 ・食品の安全性に関する今日的課題について理解する。
		6.食品衛生にかかわる活動	<ul style="list-style-type: none"> ・食品の安全性を確保するための行政や製造者の役割について理解する。 ・食品の安全性を確保するための個人の役割について理解する。

	【課題・提出物】○保健ノート ○授業プリント ○課題レポート		
	【2学期の評価方法】○定期試験 ○平常点（保健ノート，プリント，レポートなどの提出状況）		
	月	学習内容	学習のねらい
3 学 期	1	7.保健サービスとその活用	・保健行政の役割について理解する。 ・保健サービスの活用について理解する。
	2	8.医療サービスとその活用	・わが国における医療保険のしくみについて理解する。 ・さまざまな医療機関の役割について理解する。
		9.医療品の制度とその活用	・医薬品の正しい使用法について理解する。 ・医薬品の安全性を守る取り組みについて理解する。
3	10.さまざまな保健活動や社会的対策	・国際機関・民間機関などの保健活動について理解する。 ・行政機関による社会的対策について理解する。	
	11.健康に関する環境づくりと社会参加	・健康の保持増進のための環境づくりについて理解する。 ・環境づくりへの主体的な参加が自他の健康づくりにつながることを理解する。	
	【課題・提出物】○保健ノート ○授業プリント ○課題レポート		
	【3学期の評価方法】○定期試験 ○平常点（保健ノート，プリント，レポートなどの提出状況）		
<p>【年間の学習状況の評価方法】 100点法にて評価（試験・平常点で総合評価する）</p> <p>(1) 各学期評価【試験における素点の80%＋平常点20%にて評価】 (2) 年度末評価【（1学期素点＋2学期素点＋3学期素点）÷3＋年間平常点にて評価】 (3) 平常点の算出 授業に対する取り組み，小テスト，動画視聴，まとめレポート等で算出。 知識・技能，思考・判断・表現，主体的に学習に取り組む態度等の観点を含め総合的に評価する。</p>			

3 観点別評価内容および評価方法

	観点別評価内容	評価方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験において，事実的な知識の習得を問う問題と，知識の概念的な理解を問う問題をバランスよく出題する ・授業中に知識や技能を用いる場面を設定する。実習や体験を行う 	定期試験 小テスト 観察
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・論述やレポートの作成，発表。グループでの話し 	レポート

	合いなどを行う	観察
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ノートやレポートによる記述 ・授業中の発言 ・自己評価 	観察

4 学習サポート（事前・事後学習等について）

質問に関しては、随時教科担当者が対応する。

科 目	単位数	対象学年	対象クラス
英語コミュニケーションⅡ	4	2	Ⅱコース

教科書名 BLUE MARBLE English Communication Ⅱ (数研出版)

副教材名 BLUE MARBLE English Communication Ⅱナビゲーションノート (数研出版)

BLUE MARBLE English Communication Ⅱワークブック (数研出版)

英単語ターゲット 1400R (旺文社)

Real-Life Listening 1 (旺文社)

1 科目目標

英語の言語活動を通じて日常的な話題・社会的な話題を学習することで、的確に情報や考えを理解したり適切に表現したりするコミュニケーション能力を育成する。また、各課においては概要や要点を捉えたり、論理展開を確認したり、様々な言語活動を通じて多面的・多角的に考察する力を育成する。

2 学習計画及び評価方法

	月	学習内容	学習のねらい
1 学 期	4	Lesson 1 Leadership in Modern Times 現代社会において求められるリーダーシップ	<ul style="list-style-type: none"> ・強調構文を用いた英文を書くことを学習する。 ・倒置（否定語+V+S）の語順を学習する。 ・省略 / 無生物主語構文を正しく解釈することを学習する。 ・エッセイの論理構成を理解する。
	5	Lesson 2 The Diversity of Traditional Houses 世界の伝統家屋の特徴と、それらが現在果たす役割 【Real-Life Listening】 Lesson 1～Lesson 4 1学期中間試験	<ul style="list-style-type: none"> ・未来完了形を理解する。 ・スキミングの手順を理解する。 ・日本の伝統家屋の特徴を英語で話すことを学習する。 ・時制に気をつけながら、日常生活を話題にした英語を聞き取る。
	6	Lesson 3 Improving Society with Avatar Robots 社会の「孤独」を解消するため、1人の男性が生み出した「分身ロボット」	<ul style="list-style-type: none"> ・助動詞+have+P.P.について学習する。 ・進行形・完了形の受動態を用いた文を書くことを学習する。 ・スキニングの手順を学習する。

	7	Lesson 4 Approaches to Food Waste 食品ロスの現状と、自分たちにできる身近な取り組みを考える 【Real-Life Listening】 Lesson 5～8 1 学期期末試験	<ul style="list-style-type: none"> ・完了不定詞・完了動名詞について学習する。 ・図表・グラフからデータを読み取る。 ・食品ロスの解決策を英語で話すことを学習する。 ・準動詞が用いられた文を正しく理解する。
	【課題・提出物】		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ナビゲーションノート ・ワークブック ・Real-Life Listening 		
【1 学期の評価方法】			
<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験素点：80%（中間試験及び期末試験） ・平常点：20%（課題提出，単語テスト，授業態度） 			
	月	学習内容	学習のねらい
2 学 期	9	Lesson 5 Animals as Indispensable Partners 私たちのよりよい暮らしと社会をサポートしてくれる動物たち	<ul style="list-style-type: none"> ・利点・欠点を述べる表現を用いた英文を書くことを学習する。 ・分詞を用いた様々な文を正しく解釈することを学習する。 ・医療において動物ロボットを使用することに関する意見を英語で書くことを学習する。
	10	Lesson 6 An Irish Poet on a Mission 翻訳を通して日本文学の美しさを世界に広めるアイルランド出身の詩人 【Real-Life Listening】 Lesson 9～Lesson 12 2 学期中間試験	<ul style="list-style-type: none"> ・先行詞を含む関係副詞が用いられた文を正しく解釈することを学習する。 ・複合関係詞を用いた英文を書くことを学習する。 ・英文の情報構造を学習する。 ・短い会話を聞き取り，その趣旨を把握することを学習する。
	11	Lesson 7 Be Free from Gender Bias 身近にひそむ男性／女性への偏見と，それをなくそうとする取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・比較の慣用表現を用いた文を正しく解釈することを学習する。 ・未知語の推測を学習する。

12	<p>Lesson 8</p> <p>The Diminutive Giant Who Fought for Refugees</p> <p>難民保護に尽力した「小さな巨人」、緒方貞子の信念とは</p> <p>【Real-Life Listening】</p> <p>Lesson 13～Lesson 16</p> <p>2 学期期末試験</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 仮定法現在を学習する。 ・ 緒方貞子の功績を英語で話すことを身に付ける。 ・ 使役動詞・知覚動詞を用いた文を理解し、シャドーイングに取り組む。
<p>【課題・提出物】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 夏期休業期間中の課題 ・ ワークブック ・ Real-Life Listening 		
<p>【2 学期の評価方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 定期試験素点：80%（中間試験及び期末試験） ・ 平常点：20%（課題提出，単語テスト，授業態度） 		
月	学習内容	学習のねらい
3 学期	<p>1 Lesson 9</p> <p>Tackling Global Warming</p> <p>地球温暖化の新しい対応策，ジオエンジニアリングの利点・欠点を考える</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 既習事項を活用し，読解力の向上を目指す。 ・ 地球上の様々な問題について英語で意見を述べる。
	<p>2 Lesson 10</p> <p>Keys to Finding Happiness</p> <p>「幸せ」を自分で切り開く方法を科学的に見てみよう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 英語の情報構造，論理構成を再確認する。 ・ 図表を活用しながら，本文の内容を英語で話す。
	<p>3 【Real-Life Listening】</p> <p>Lesson 16～Lesson 20</p> <p>3 学期期末試験</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 関係代名詞に注意しながら，物語の内容を理解する。
<p>【課題・提出物】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 冬期休業中の課題 ・ ワークブック ・ Real-Life Listening 		
<p>【3 学期の評価方法】</p> <p>定期試験素点：80%（期末試験）</p> <p>平常点：20%（課題提出，単語テスト，授業態度）</p>		

【年間の学習状況の評価方法】 定期試験素点：80%（5回実施される定期試験素点の平均点）
 平常点：20%（各学期の平常点の平均点）

3 観点別評価内容および評価方法

	観点別評価内容	評価方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・新出語や Key Phrases, Key Language の重要項目を理解している。 ・各 Lesson の内容について、事実や自分の考えを整理し、新出語や Key Phrases, Key Language を用いて、本文の内容を再生したり、自分の意見を話す、あるいは書くことができる。 	定期試験 単語テスト 授業時の態度
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・本文の内容を簡潔にまとめることができる。 ・本文に関連したテーマについて、学習した表現を用いて、自分の意見を話す、あるいは書くことができる。 ・聞き取った内容の概要を捉え、それを他者に伝えることができる。 	定期試験 授業時の態度 課題
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の音読活動等の定着活動に積極的に参加している。 ・発音、読解、文法に関する学習事項を反復練習し、課題に取り組む。 ・各単元のテーマに関して、自分の意見を表現しようとしている。 	授業時の態度 課題

4 学習サポート（事前・事後学習等について）

- ・1年次と同様、授業には必ず、事前に音読練習をして参加しましょう。音読をしながら、発音が分からない単語、初めて見る単語や表現を明確にした上で授業に臨むことで、授業の理解度が上がります。授業後も、音読に取り組むことが大切です。音読は、リスニング力の向上や英語の理解に繋がります。
- ・復習に重点を置き、授業実施日に家庭学習として音読に加えて、単語の確認や内容理解等に取り組みましょう。特に、教科書の内容理解を徹底的に行い、ワークブック等で定着しているかを確認し、定期テストに臨み、入試の基礎を作り上げましょう。分からないところがあれば、必ず質問をしてください。また、リスニングにも定期的に取り組む、テキストを複数回繰り返しましょう。
- ・英語ができるようになるには、単語力が必要不可欠です。単語の学習は必ず毎日行いましょう。1年次に学んだ単語が、英文の中でどのように使われているのかを意識しながら、さらに単語に関する知識を定着させましょう。単語帳に掲載されている英文を暗唱できるようになるまで音読練習をしながら身につけましょう。

科目	単位数	対象学年	対象クラス
論理・表現Ⅱ	3	2	Ⅱコース

教科書名 Vision Quest English Logic and ExpressionⅡ Ace (啓林館)
副教材名 Vision Quest 論理・表現Ⅱ Hope WORKBOOK (啓林館)
英文法・語法 Scramble 4th edition (旺文社)
Pair & Share② <リピトレ版> (いいずな書店)
大学入試4技能試験対応 コア表現トレーニング 上級編 (旺文社)

1 科目目標

「論理・表現Ⅰ」の学習内容を踏まえ、「話すこと（やり取り）」「話すこと（発表）」「書くこと」を中心とした統合的な言語活動を通して、発信能力を強化するための発展的な活動を行うとともに、論理の構成や展開を工夫して詳しく伝えたり、伝え合ったりすることができる能力を育成する。

2 学習計画及び評価方法

	月	学習内容	学習のねらい
1 学 期	4	Lesson 1 What is your future goal?	<ul style="list-style-type: none"> 日本語訳にとらわれず、適切な主語を用い、英文を書くことを学習する。 代名詞やつなぎ言葉を用い、文のつながりを意識した英文を書くことを学習する。 自分の目標とその達成に向けた過程を英語で他者に伝える方法を身につける。
	5	Lesson 2 What school events do you have? 【Pair & Share②】 Lesson1~3 【コア表現トレーニング上級編】 Lesson1~8	<ul style="list-style-type: none"> 自動詞と他動詞を適切に用い、英文を書く。 英語のパラグラフ構成を学習する。 英語のパラグラフ構成に基づき、好きな学校行事の紹介を英語で書く。 映画などの身近な事柄に関して、他者に自分の意見を英語で伝える方法を身につける。 意見・理由を伝える表現を学習する。
		1学期中間試験	
	6	Lesson 3 Who is the best athlete?	<ul style="list-style-type: none"> 英語の基本時制(現在・過去・未来)の使い分けを再確認する。 例示・追加の表現を用い、論理的なパラグラフ構成で英文を書くことを学習する。 好きなアスリートを英語で紹介する。

	6	Lesson 4 Is social media safe?	<ul style="list-style-type: none"> ・義務・必要・推量を表す助動詞を用いた英文を書くことを学習する。 ・複数の事柄を比較・対照する表現及びパラグラフ構成を学習する。 ・ソーシャルメディアの利点と欠点を比較する英文を書くことを学習する。
	7	【Pair & Share③】 Lesson4~7 【コア表現トレーニング上級編】 Lesson9~17 1 学期期末試験	<ul style="list-style-type: none"> ・習慣を他者に英語で伝える方法を身に付ける。 ・依頼をする表現を用いた会話を学習する。
【課題・提出物】 <ul style="list-style-type: none"> ・授業用ノート ・ワークブック ・小テスト ・その他授業中に課す課題 			
【1 学期の評価方法】 定期試験素点：80%（中間試験及び期末試験） 平常点：20%（課題提出，小テスト，授業態度）			
	月	学習内容	学習のねらい
2 学 期	9	Lesson 5 How does overusing energy affect us?	<ul style="list-style-type: none"> ・形容詞として機能する表現・文法を用いた英文の構造を再確認する。 ・物事の因果関係を述べるためのパラグラフ構成を学習する。 ・エネルギーの過剰使用により生じる問題に関して，自分の意見を英語で他者に伝える方法を身に付ける。
	10	Lesson 6 What are some culture differences? 【Pair & Share②】 Lesson8~10 【コア表現トレーニング上級編】 Lesson18~23 2 学期中間試験	<ul style="list-style-type: none"> ・関係代名詞や関係副詞を用いた英文を書く。 ・出典や他の主張を示す表現を学習する。 ・訪れたい国とその文化について，英語で話す。 ・夏休みの出来事について，英語で発表する。 ・賛否を伝える表現を学び，それを活かしながら自分の意見を英語で説明する。

	10	Lesson 7 Do all Japanese people need to speak English?	<ul style="list-style-type: none"> 副詞の働きをする表現を再確認し、それらを活用した英文を書く。 要点・要約を書く手順を学習する。 英語を第二公用語として日本で使用することに関する英文を読み、要約する。
	11	Lesson 8 Is Japan open enough?	<ul style="list-style-type: none"> 様々な伝達表現を学び、それらを用い、適切な英語で情報を伝える。 リスニングの要約に用いる手順を学習する。 日本企業の働き方に関する英文を読み、それに関する自分の意見を伝える。
	12	Lesson 9 What if you were rich? 【Pair & Share②】 Lesson11~15 【コア表現トレーニング上級編】 Lesson24~29 2 学期期末試験	<ul style="list-style-type: none"> 自分の趣味に関する英語を書き、発表する。 様々な状況を説明するための表現を学び、それらを用いて、自分の主張に根拠を補いながら話す。 仮定法を用いた英文を書く。 スピーチの構成を学び、スピーチ原稿を書くための準備をする。 仮想の状況に関して、意見や根拠を付け加えながら、自らの主張をまとめる。
【課題・提出物】 <ul style="list-style-type: none"> 夏期休業中の課題 授業用ノート ワークブック 小テスト その他授業中に課す課題 			
【2学期の評価方法】 定期試験素点：80%（中間試験及び期末試験） 平常点：20%（課題提出，小テスト，授業態度）			
	月	学習内容	学習のねらい
3 学 期	1	Lesson 10 How might AI affect our lives?	<ul style="list-style-type: none"> 可算名詞と不可算名詞の違いや、様々な数量を表す表現を学ぶ。 これまでに学んだパラグラフ構成を活用し、英語でプレゼンテーションをする。 AI との共存に関して、自分の意見を他者に伝える。

1	Lesson 11 What is a healthy life?	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な比較表現を用いた英文を書く。 ・ディベートのルールを学び、実際にディベートに取り組む。 ・睡眠時間の確保に関して自分の意見を適切に他者に伝える。
2	Lesson 12 What is important when we sell chocolate?	<ul style="list-style-type: none"> ・部分否定・全否定の表現を含んだ英文の構造を理解する。 ・ディスカッションに取り組み、意見の主張、他人の意見の要約の方法を学習する。 ・チョコレートの販売において重要なことに関する意見を他者に適切に伝える。
3	【Pair & Share②】 Lesson16~20 【コア表現トレーニング上級編】 Lesson30~42 3 学期期末試験	<ul style="list-style-type: none"> ・冬休み中の出来事について、英語で発表する。 ・様々な状況を客観的に伝えるための表現を学習する。
【課題・提出物】 <ul style="list-style-type: none"> ・冬期休業期間中の課題 ・授業用ノート ・ワークブック ・小テスト ・その他授業中に課す課題 		
【3 学期の評価方法】 定期試験素点：80%（期末試験） 平 常 点 ：20%（課題提出，小テスト，授業態度）		
【年間の学習状況の評価方法】 定期試験素点：80%（5 回実施される定期試験素点の平均点） 平 常 点 ：20%（各学期の平常点の平均点）		

3 観点別評価内容および評価方法

	観点別評価内容	評価方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・英作文に必要な基本文法を身につけている。 ・英語の論理展開を理解し、適切な表現を用いながらまとまった英文を書くことができる 	授業中の活動 小テスト 各種課題 定期試験
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・状況に応じて、自分の意見を適切に他者に伝えることができる 	授業中の活動 各種課題
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・社会状況等の背景にある事柄の理解を深め、聞き手・読み手など他者に配慮しながら、主体的・自立的に表現しようとしている。 	授業中の活動

4 学習サポート（事前・事後学習等について）

1年次に学んだことを活用していく授業になります。授業の理解を深めるために、授業で扱う単元は、Scramble や1年次のテキストを用いて、授業前に必ず復習をしましょう。毎時間の授業では、英語を用いて書いたり話したりしていきます。授業中の活動を大切に、間違いを恐れずに積極的に授業にすることが大切です。授業中で扱う例文や問題を反復練習し、確実に英語の知識を定着させることで、様々な場面で英語を使えるようになることを目標としてください。分からないことがあれば、必ず質問をしてください。

科 目	単位数	対象学年	対象クラス
家庭基礎	2	2 学年	I・IIコース

教科書名 気づく力 築く未来 家庭基礎 (実教出版)

副教材名 生活学 N a v i 資料+成分表 (実教出版)

気づく力 築く未来 授業ノート (実教出版)

1. 科目目標

- ・人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭、衣食住、消費や環境など、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- ・家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定、解決策を構想・実践、考察するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。

2. 学習計画及び評価方法

	月	学習内容	学習のねらい
1 学 期	4	ガイダンス・食物アレルギーについて 第1章 これからの人生について考えてみよう 1 自分の未来予想図を描こう 2 これからの人生をデザインする	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の意義や内容、持ち物、評価の方法などを理解する。食物アレルギーについて把握する。 ・ライフステージごとの特徴・課題を理解する。 ・人生設計に必要な要素を理解する。
	5	第2章 自分らしい生き方と家族 1 自立と共生 2 ライフキャリア 3 共に生きる家族 4 家族に関する法律	<ul style="list-style-type: none"> ・自立の種類と具体的な内容を把握する。 ・男女共同参画社会の実現をめざす歩みと社会的背景について理解する。 ・労働の種類と意義について多面的に検討する。 ・家族・家庭の意義や機能について理解する。 ・現在の家族の抱える課題などを理解する。 ・家族に関する法律の理念や背景、改正点について理解する。
	6	第3章 子どもとかかわる 1 子どもとは ■DVD 視聴 「生命の誕生2」 ○妊娠疑似体験 2 子どもの発達 ○育児体験 3 子どもの生活	<ul style="list-style-type: none"> ・育児を学ぶ意義、10代の健康が将来生まれてくる子どもに繋がっていることを理解する。 ・妊娠中の女性の大変さを知り、パートナーとして助け合うことの大切さに気づく。 ・子どもの心身の発達は身近な大人との関わりによって発達することを理解する。 ・新生児の抱き方、ミルクの与え方、げっぷのさせ方、オムツの取り替え方を知る。 ・子どもの食事や衣服、遊びを理解する。

	6	<p>4 子どもをはぐくむ</p> <p>5 子どものための社会福祉</p> <p>第4章 高齢者とかかわる</p> <p>1 高齢社会に生きる</p> <p>■DVD 視聴 「高齢者の特徴」</p> <p>2 高齢期を知る ○高齢者疑似体験</p> <p>3 高齢期の自立を支える</p> <p>4 高齢社会を支えるしくみ</p> <p style="text-align: center;">1 学期期末試験</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもを生み、育てる意義を理解する。 ・親子関係の課題を理解し、解決策を考える。 ・子育てのための社会的支援や子どもの権利と福祉の歩みを理解する。 ・高齢者、高齢社会への理解を世界の動向からも深める。 ・心身の特徴や生活を理解し、高齢期の心身の変化による不安に気づき、改善策を考察する。 ・要介護の高齢者に必要な心がけを理解する。 ・介護保険制度について理解する。 ・介護をめぐる課題について理解する。
	7	<p>■DVD 視聴</p> <p>「ホームプロジェクト」</p> <p>☆夏休み課題「ホームプロジェクト」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休み中に家庭生活の中の問題を見つけ、改善方法を考えて実施する。研究した内容をレポートにまとめる。
	<p>【課題・提出物】 ・学習ノート、小テストなど</p> <p>【第1学期の評価方法】</p> <p>①定期試験の成績（60%）→知識・理解の確認をする。</p> <p>②学習態度等の平常点（40%）→実習課題等の提出状況（30%）、授業態度（10%）を評価する。</p>		
	月	学習内容	学習のねらい
2 学 期	9	<p>○ホームプロジェクト発表会</p> <p>第5章 社会とかかわる</p> <p>1 支え合って生きる</p> <p>2 共生社会を生きる</p> <p>第7章 衣生活をつくる</p> <p>1 人と衣服のかかわり</p> <p>2 衣服の素材の種類と特徴</p> <p>3 衣服の選択から管理まで</p> <p>■DVD 視聴</p> <p>「衣服と装いの科学」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・発表会を通して、実施内容を反省・評価する。また他者の発表を聞き、参考にする。 ・個人や家庭生活を支える社会保障制度や社会福祉についての重要性を理解する。 ・協働やボランティア活動に関心を持てるようする。 ・衣服の起源、機能や安全性を理解する。 ・繊維の種類と特徴、衣服素材の性能を理解する。 ・衣服の表示内容やその意味を理解し、購入から洗濯などの管理に役立てる。 ・洗剤・漂白剤・防虫剤などの種類について理解し、衣服の種類に応じた適切な選択や保管ができるようにする。
	10	<p>第6章 食生活をつくる</p> <p>1 日本の食文化の形成</p> <p>2 私たちの食生活</p> <p>○調理実習の説明・栄養価計算</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・食文化の成り立ち、和食の特徴を理解する。 ・自身の食生活の現状把握と課題を知る。 ・栄養価計算の方法を知り、実践する。

10	●第1回 調理実習、一汁二菜の献立 「魚のなべ照り焼き、すまし汁、青菜のごまあえ」	・調理を通して基礎的な技術を身に付ける。 ・切り身魚の扱い方、和風だしの取り方、青菜のゆで方を学ぶ。
11	3 栄養と食品のかかわり 4 食品の選び方と安全 5 食事の計画と調理 6 これからの食生活を考える	・栄養素の種類と働きやそれぞれの栄養素が多く含まれる食品について確認する。 ・旬の食材や表示の読み方を理解する。 ・食中毒の予防法、食品添加物を理解する。 ・年齢や性別ごとに異なる食事摂取量と、それを満たすための食品の概量を理解する。 ・日本の食料自給率の現状を知り、日本の食糧事情を解決するためにできることを考える。 ・食の安全と環境に配慮した食生活を送ることができるようになる。
12	○調理実習の説明・栄養価計算 ●第2回 調理実習、中華の献立 「回鍋肉、粟米湯、乃豆腐」	・炒め物のコツ、片栗粉でのとろみのつけ方、寒天の扱い方を理解する。
【課題・提出物】 ・学習ノート、小テスト、ホームプロジェクト、調理実習の記録など		
【第2学期の評価方法】		
①定期試験の成績（60%）→知識・理解の確認とともに、調理に関する基礎的知識も出題する。 ②学習態度等の平常点（40%）→実習課題等の提出状況（30%）、授業態度（10%）を評価する。		
月	学習内容	学習のねらい
3 学 期	1 第8章 住生活をつくる 1 人間と住まい 2 住まいの文化 3 住まいを計画する ■DVD 視聴 「見つけよう、マイルーム」	・住まいはどのような機能を持ち、人の生活がその機能とどう関わっているか理解する。 ・日本の伝統的な住居の特徴や暮らし方の工夫を見つける。 ・日本の住居の変遷、生活様式を理解する。 ・生活行為と住空間のかかわりや、住空間の違いによって住まいの居住性が異なることを理解する。平面図の基礎的知識を学び、平面図から住空間が読み取れるようになる。
	2 4 健康に配慮した快適な室内環境 5 安全な住まい 第9章 消費行動を考える 1 消費行動と意思決定 2 消費生活の現状と課題	・健康的な室内環境をつくるためのさまざまな要素を理解する。 ・安全で長く住み続けるために必要な住居の管理の方法、防災対策について理解する。 ・家庭内事故や災害について学習し、安全な住まい環境について理解する。 ・消費行動において、意思決定のプロセスが重要であることを認識する。 ・契約、多様な販売方法や支払方法、問題商法

2	<p>■DVD 視聴</p> <p>「消費生活とトラブル防止」</p> <p>3 消費者の権利と責任</p> <p>4 ライフスタイルと環境</p> <p>第10章 経済的に自立する</p> <p>1 暮らしと経済</p> <p>2 将来のライフプランニング</p>	<p>について理解する。また、被害にあった場合の解決方法について理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消費者の権利と責任について理解する。 ・資源・環境に配慮した生活スタイルについて考え、実行できる。 ・家計と国民経済、国際経済の関係性に気づく。 ・家計の構造を理解し、適切な家計管理ができるようにする。 ・金融商品を知り、生活設計とかかわらせて、長期の経済設計の必要性について理解する。
3	<p>【課題・提出物】 ・学習ノート、小テストなど</p> <p>【第3学期の評価方法】</p> <p>①定期試験の成績（60%）→知識・理解の確認をする。</p> <p>②学習態度等の平常点（40%）→実習課題等の提出状況（30%）、授業態度（10%）を評価する。</p> <p>【年間の学習状況の評価方法】 ・学年末の成績は、各学期の総合成績を総合して評価する。</p>	

3. 観点別評価内容および評価方法

	観点別評価内容	評価方法
知識・技能	<p>家族・家庭の意義、また社会との関わりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解し、それらにかかわる技能を身につけている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・定期試験 ・小テスト
思考・判断・表現	<p>課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームプロジェクトの発表 ・グループワークの参加
主体的に学習に取り組む態度	<p>課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・調理実習の記録や疑似体験ワークシート ・ホームプロジェクトの記録 ・学習ノート ・小テスト

4. 学習サポート（事前・事後学習について）

<ul style="list-style-type: none"> ・自分の家族や家庭生活について関心を持ち、その中にある問題点を把握し、その解決策を考える力を身につけましょう。 ・家庭科の学習を実際の生活と結びつけ、実践的・体験的な学習活動やグループ活動へ積極的に取り組みましょう。 ・衣食住に関する知識や技術を身に付け、ホームプロジェクトを充実させましょう。 <p><定期試験に向けて></p> <ol style="list-style-type: none"> 1、授業の内容をしっかりと復習する。（学習ノートやプリント等を見直すこと） 2、提出物は期限を守って提出すること。

科目	単位数	対象学年	対象クラス
情報 I	1	2 学年	I・IIコース

教科書名 高校情報 I JavaScript (実教出版)

副教材名 ポイント整理 情報モラル (数研出版)

1 科目目標

- ①効果的なコミュニケーションの実現，コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに，情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。
- ②様々な事象を情報とその結び付きとして捉え，問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。
- ③情報と情報技術を適切に活用するとともに，情報社会に主体的に参画する態度を養う。

2 学習計画及び評価方法

	月	学習内容	学習のねらい
1 学 期	4	<ul style="list-style-type: none"> ➤ ガイダンス ● PC・教室利用について ● PCの個人設定 ● タイピング 	<ul style="list-style-type: none"> ・PCの個人設定を行い，利用環境を整える。 ・タイピングソフトの利用の仕方を確認し，タイピングに取り組む。
	5	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 情報の表現の工夫 ● 文書作成ソフトの操作方法について ● 課題の保存と提出の操作方法について 	<ul style="list-style-type: none"> ・文書作成ソフトの操作方法を学び，表現の工夫を理解する。 ・課題の取得・保存・提出をできるようにする。
	6	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 2進数と10進数・16進数 ● 2進数とは何か ● 10進数とは何か ● 16進数とは何か ➤ コンピュータの構成とインターネットの利用について ● コンピュータを構成している要素について理解する ● インターネットの利用の仕方について 	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータにおける数値の取り扱いは，2進数・16進数で行われることを理解する。 ・2進数・16進数を用いた数の表現について理解する。 ・コンピュータはハードウェアとソフトウェアから構成されていることを理解する。 ・コンピュータの五つの機能について理解する。 ・インターネット利用の注意点を理解する。
		<ul style="list-style-type: none"> ➤ 情報のデジタル化① ● アナログとデジタル ● 情報量を表す単位について ● bitとは何か 	<ul style="list-style-type: none"> ・アナログとデジタルの相違を理解する。 ・コンピュータで扱うデータの最小単位の bitを理解する。
	7	1 学期期末試験	<ul style="list-style-type: none"> ・情報量の単位の変換を理解する。

<p>【課題・提出物】 授業で配布する資料プリント，授業ノート 実技演習課題</p>			
<p>【1学期の評価方法】</p> <p>① 学期末試験 50% 1学期期末試験のみ筆記試験を行う。中間試験は行わない。 知識・理解の確認とともに，タイピングの知識などを見る問題も出題する。</p> <p>② 実習課題等 30% 実習時の演習課題ならびにタイピングの能力を評価する。</p> <p>③ 平常点 20% 課題の提出状況やノートの確認を通して評価する。</p>			
月	学習内容	学習のねらい	
2 学 期	9	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 情報のデジタル化② ● 音声のデジタル化の仕組み ● 音楽 CD の記憶の仕組み ➤ 情報のデジタル化③ ● PC での画面表示と解像度 ● 光の 3 原色 ● 画像の諧調と情報量 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 音声を 2 進数であらわされる数値データに変換する過程を理解する。 ・ コンピュータにおける画像の表現方法を理解する。 ・ データの様々な圧縮形式について理解する。 ・ 情報社会に関わる様々な法律の名称とその役割を学び，情報を保護する必要性や，個人が担う責任について理解する。 ・ プレゼンテーションソフトの操作方法を学ぶ。 ・ プレゼンテーションを通し，情報の発信の仕方を学ぶ。 ・ Web ページが HTML という言語によって記述されていることを学ぶ。 ・ 実際に簡単な自己紹介の Web ページを作成することによって，HTML の基本的なタグを理解する。 ・ HTML の様々なタグを学ぶ。
	10	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 情報の圧縮 ● 情報の圧縮の考え方について ● 音・画像・動画の圧縮 ➤ 個人情報と知的財産権 ● 個人情報の取り扱いについて ● 知的財産権について ● プレゼンテーションソフトを用いたグループ演習 	
	11	<ul style="list-style-type: none"> ➤ HTML 文の書き方① ● Web ページとは何か ● Web ページ作成の準備 ● 基本的なタグ 	
	12	<ul style="list-style-type: none"> ➤ HTML 文の書き方② ● 様々な HTML タグについて ● カラーコード 	
	2 学期期末試験		
<p>【課題・提出物】 授業で配布する資料プリント，授業ノート 実技演習課題</p>			
<p>【2学期の評価方法】</p> <p>① 学期末試験 50% 2学期期末試験のみ筆記試験を行う。中間試験は行わない。 知識・理解の確認とともに，タイピングの知識などを見る問題も出題する。</p> <p>② 実習課題等 30% 実習時の演習課題ならびにタイピングの能力を評価する。</p> <p>③ 平常点 20% 課題の提出状況やノートの確認を通して評価する。</p>			

	月	学習内容	学習のねらい
3 学 期	1	▶ HTML を用いたグループによる情報	<ul style="list-style-type: none"> ・より高度な HTML のタグを学ぶ。 ・情報を発信することの責任について理解する。 ・他者と協力して情報発信をすることを学ぶ。
	2	発信	
	3	● グループ演習 学年末試験	
		【課題・提出物】 授業で配布する資料プリント，授業ノート 実技演習課題	
		【3学期の評価方法】 ① 学期末試験 50% 知識・理解の確認とともに，タイピングの知識などを見る問題も出題する。 ② 実習課題等 30% 実習時の演習課題ならびにタイピングの能力を評価する。 ③ 平常点 20% 課題の提出状況やノートの確認を通して評価する。	
		【年間の学習状況の評価方法】 1学期末と2学期末と3学期末の成績を統合して評価する。	

3 観点別評価内容および評価方法

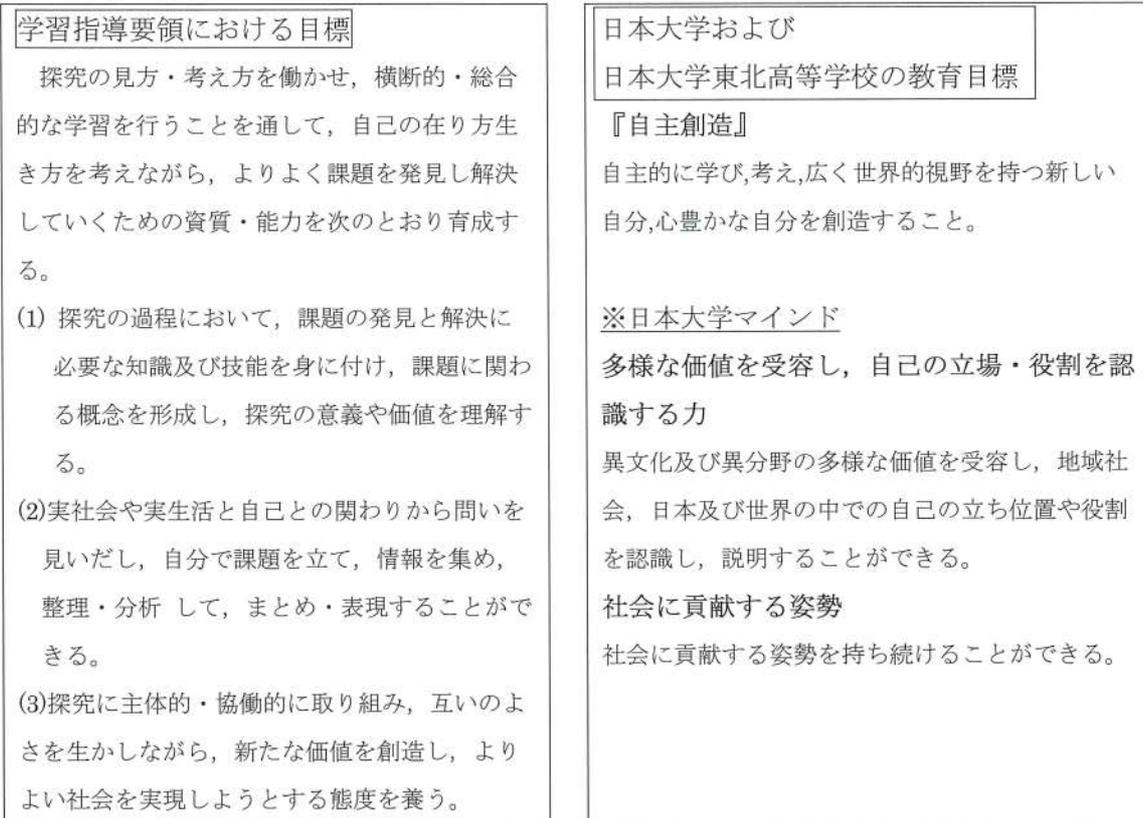
	観点別評価内容	評価方法
知識・技能	情報と情報技術を問題の発見・解決に活用するための知識について理解し，技能を身に付けているとともに，情報化の進展する社会の特質及びそのような社会と人間との関わりについて理解している。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業ノート ・実技演習課題 ・学習活動の観察
思考・判断・表現	事象を情報とその結び付きの視点から捉え，問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。	<ul style="list-style-type: none"> ・実技演習課題 ・学習活動の観察
主体的に学習に取り組む態度	情報社会との関わりについて考えながら，問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し，自ら評価し改善しようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業時の取り組み ・タイピングテスト ・学習活動の観察

4 学習サポート（事前・事後学習等について）

- ・コンピュータリテラシーとしてタイピング技術を身につけ，ブラインドタッチに挑戦しましょう。
- ・実技については，毎時間課題を課します。時間ごとの内容を確認するのでしっかり覚えましょう。

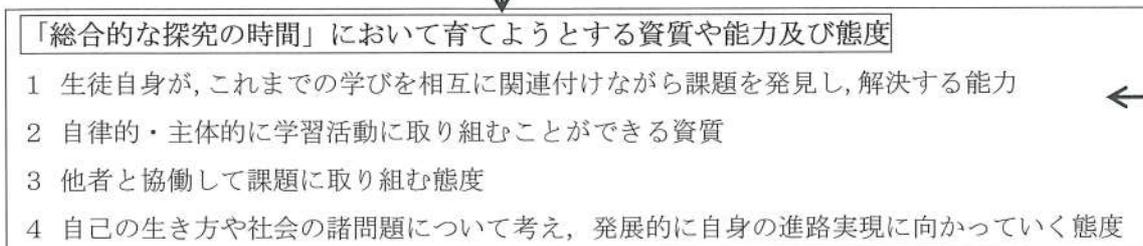
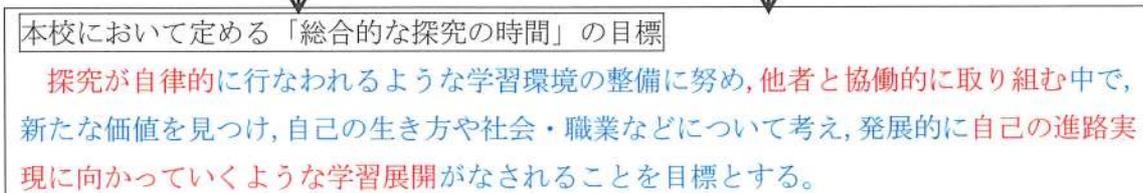
科目	単位数	対象学年	対象クラス
総合的な探究の時間	1	2 学年	II

1 科目目標



踏まえて

踏まえて



相互に関連付け、学習や生活において生かし、それらが総合的にはたらくようにする。

他教科で身に付けた資質・能力

2 各学年の目標および探究するテーマ

1 年次：「自己理解とキャリア探究」 働く意義について考える。探究の基礎を学ぶ。

2 年次：「自己啓発」 自ら課題を発見・追究・表現・解決する

興味・関心、身近な疑問に基づくテーマ、地域社会に関するテーマ

3 年次：「自己実現」 実体験を通じて社会に学び、社会への共生を図る。

学術的テーマまたは社会問題や企業課題に関するテーマ

3 学習計画及び評価方法

学期	回	月日	活動内容	活動のねらい
	0	4/13(土)	探究オリエンテーション	課題設定
1 学期	1	4/24(水)	探究活動 1-①	情報収集
	2	5/ 8(水)	探究活動 1-②	整理分析
	3	5/15(水)	探究活動 1-③	まとめ
	4	5/29(水)	探究活動 2-①	課題設定
	5	6/ 5(水)	探究活動 2-②	情報収集
	6	6/12(水)	探究活動 2-③	整理分析/プレゼン動画作成
	7	6/19(水)	探究活動 2-④	まとめ表現/プレゼン(表現)
2 学期	8	9/ 4(水)	探究活動 3-①	課題設定
	9	9/11(水)	探究活動 3-②	課題設定
	10	9/18(水)	探究活動 3-③	情報収集
	11	10/ 2(水)	探究活動 3-④	情報収集
	12	10/16(水)	探究活動 3-⑤	整理分析/プレゼン動画作成
	13	10/23(水)	探究活動 3-⑥	整理分析/プレゼン動画作成
	14	10/30(水)	探究活動 3-⑦	まとめ表現/プレゼン(表現)
	15	11/ 6(水)	探究活動 3-⑧	まとめ表現/プレゼン(表現)
	16	11/13(水)	探究活動 4-①	課題設定
	17	11/20(水)	探究活動 4-②	課題設定
	18	11/20(水)	探究活動 4-③	情報収集
	19	12/ 4(水)	探究活動 4-④	情報収集
	20	12/18(水)	探究活動 4-⑤	整理分析/プレゼン動画作成
3 学期	21	1/15(水)	探究活動 4-⑥	整理分析/プレゼン動画作成
	22	1/29(水)	探究活動 4-⑦	まとめ表現/プレゼン(表現)
	23	2/ 5(水)	探究活動 4-⑧	まとめ表現/プレゼン(表現)
	24	2/12(水)	探究活動 5-①	
	25	2/19(水)	探究活動 5-②	
	26	2/26(水)	探究活動 5-③	

3-(1) 評価の観点、内容及び評価方法

成果物の出来栄えなど、活動の結果だけを評価するのではなく、過程を評価する。

	評価の観点及び内容	評価方法
知識・技能	探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識および技能を身に付け、課題に関する概念を形成し、探究の意義や価値を理解している。	プレゼンテーションやポスター発表などの表現による評価。
思考・判断・表現	実社会や実生活と自己との関わりから問いを見出	討論や質疑の様子など

	し、自ら問いを立て、情報を集め、整理分析して、まとめ・発表している。	の言語活動の記録による評価。
主体的に学習に取り組む態度	探究に主体的・協働的に取り組もうとしているとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとしている。	学習や活動の状況などの観察記録による評価。 論文・報告書、レポート、ノート、作品などの制作物による評価。 評価カードや学習記録などによる生徒の自己評価や相互評価。

3-(2) 評価基準（ルーブリック）

	十分満足できる(A)	概ね満足できる(B)	努力を要する(C)
知識・技能 知識・技能	必要な知識・技能を書籍や資料等から得て、既得の知識と関連付けて理解することができる。	必要な知識・技能を書籍や資料等から得て、ある程度理解することができる。	必要な知識・技能を書籍や資料等から得ることができない。得た知識・技能の理解ができない。
課題を発見する力 思考・判断	自分の興味・関心と社会問題を関連付けて、課題を発見することができる。	自分の興味・関心から、または社会問題から課題を発見することができる。	自分の興味・関心、社会について理解が浅く、課題を発見できない。
課題を解決する力 思考・判断	データや情報を適切に収集し、整理・分析をすることができる。 筋道を立て、論理的な考えを構築できる。	データや情報を適切に収集し、整理・分析をする努力ができる。 根拠や論理性に欠けた部分はあるが、自分なりの考えを提示できる。	データ・情報を適切に収集・分析することができない。 データ・情報に基づいた考えを思考することができない。
考えを他者に伝えることができる力 表現	論理的に筋道を立て、分かりやすく、工夫のある発表をすることができる。	論理的に筋道を立て、分かりやすく発表しようとする努力ができる。	発表するための準備が不十分である。
自律的・主体的に学習に取り組む力 主体的に学習に取り組む態度	課題の解決に向けて自ら粘り強く取り組むことができる。	課題の解決に向けて意欲的に継続して取り組むことができる。	活動に意欲的に取り組むことができない。
他者と協働する力 主体的に学習に取り組む態度	班員と目標を共有し、価値観や意見の異なる人の意見も尊重し協力し	班員と協力して活動できる。	班員と協力する姿勢が見られない。

	て活動できる。		
--	---------	--	--